

取扱説明書

Ver1.00

H.264圧縮方式デジタルレコーダー



RD-3904/3905



カメラ1~4台用

RD-3908/3909



カメラ1~8台用

RD-3916/3917



カメラ1~16台用

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上のご注意	2
安全のため必ずお守りください	2
正しくご使用いただくために必ずお守りください	6
主な特徴	7
主要部品の交換時期	7
付属品	7
各部の名称とはたらき	8
リモコンの各部の名称とはたらき	10
USBマウスを使った操作方法	10

つかいかた

操作前の準備	11
画面表示	11
日時の設定	12
クイック設定の解除	13
カメラ映像の監視	14
1画面表示	14
分割画面表示	14
カメラ自動切換	14
録画	15
リアルタイム録画	15
予約録画	15
モーション・アラーム録画	15
録画した映像の再生	21
ノーマル再生	21
時間検索再生	22
ログからの再生	23
録画映像を外部メディアにコピーする	25
バックアップデータの再生	27
バックアップデータのAVIファイル変換	28
ネットワーク接続による遠隔監視	29
遠隔監視ソフトについて	29
ソフトのインストール	30
DVRの登録	32
画面表示	34
ライブ監視	36
リモート再生	38
リモートダウンロード	40
ダウンロードデータの再生	41
CMS設定	42
仮想DVR	57
WEB CMS	61
WEB 監視	63
PTZカメラの設定・コントロール	64

設定のしかた

メニュー設定の構成と働き	68
画面設定	69
画面設定	69
画面自動切替設定	70
カメラ設定	71
輝度	71
コントラスト	71
カラー	71
感度	71
エリア設定	71
非表示	72
カメラ名称	72
PTZ ID/MODEL	72
録画設定	73
コマ数/1秒間	73
画質	73
モーション	73
アラーム	73
イベント設定	74
コマ数/1秒間	74
画質	74
デバイス設定	75
キー操作音	75
タッチキー感度	75
アラーム	76
予約録画設定	77
ネットワーク設定	78
IPアドレス設定	78
Eメール	79
DDNS	80
MISC	81
システム設定	82
設定	83
日時設定	84
ユーザー	85
ディスク	86
アップデート	87
情報	88
スマートフォンでの監視方法	89

その他の

録画時間目安表	90
仕様	93
製品図	96
故障かな?と思ったら	97
アフターサービスについて	98

安全上のご注意

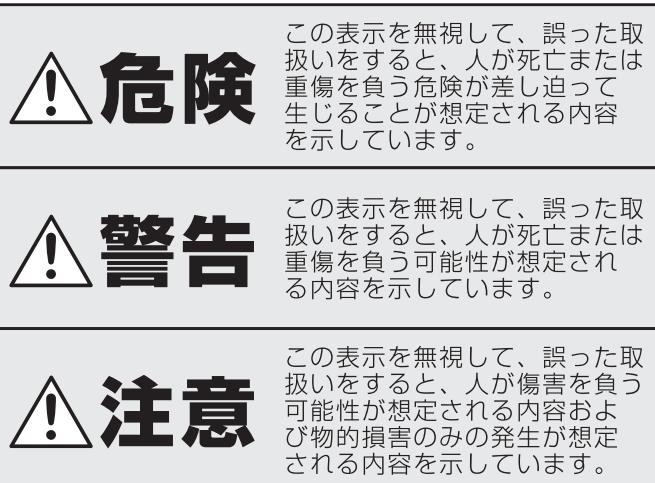
安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただきため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめてあります。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



■ 記号の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

分解禁止

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してください。



お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



■ 電源コードを傷つけない

●付属の電源コード以外は使用しないでください。

●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。



●電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。



■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。

●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。



●定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

■ 電源コード接続時の注意

●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。

●電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。



●コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触ると危険なうえ、火災、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

安全上のご注意

！警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。

風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。



■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



！警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



！注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



！注意

- お手入れの際、長期間使用しない場合
電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまつたまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
- 本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
- 上下間は 1cm 以上の隙間を開ける
- 左右は 5cm 以上を開ける
- ラック後面と壁面間は 10cm 以上開ける



■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

- 急激な温度（毎時 10°C 以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



■ 設置場所の注意

- 本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- 直射日光が当たる場所
 - 水にぬれやすい場所
 - 冷暖房器具や加湿器に近い場所
 - エアコンなどの冷風が直接当たる場所
 - ほこりやちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 磁気を持っているものに近い場所
 - 揮発性物質のある場所
 - 常に振動のある場所や車や列車など



付属の AC アダプターについて

！危険

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触ると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。



■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



警告

■ 付属の AC アダプター以外は使用しない

付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って AC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



■ ぬれた手で AC アダプターをさわらない

感電の原因となります。



安全上のご注意

付属の AC アダプターについて

！警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがあるときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

■ AC アダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
- AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC 入力端子から DC プラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。



！注意

■ コード類は正しく接続する

AC アダプターのコードや接続ケーブルはじめ注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。



■ 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



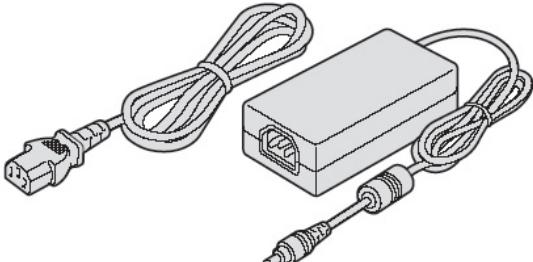
■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



！警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたまにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合等により、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、必要な映像はバックアップすることをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。



警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない

■ 電源を切ってから約30秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの4箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

●梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。

●ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてください

主な特徴

- H.264による長時間記録
- 分割画面でも動画でモニター可能
- 自動上書き録画可能
- 音声記録対応
- USBメモリ、CD/DVD-Rへのデータバックアップ
- 本機をネットワーク経由でパソコンから操作可能
- VGA映像出力
- リモコンとDVRユーティリティーソフトウェア付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 放熱ファン

ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因になります。時々、放熱ファンが正常に動作しているか（止まっていたり異音がしていないか）を確認してください。

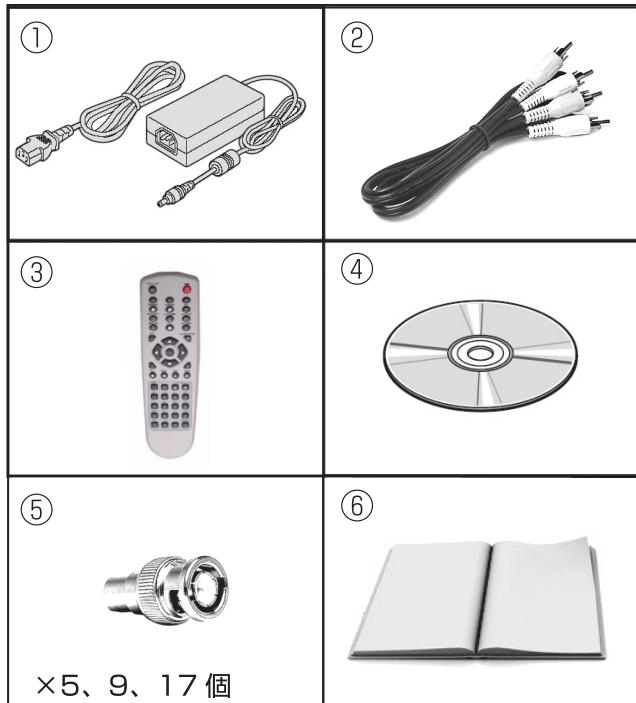
■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）

2年（周囲温度25℃）

付属品

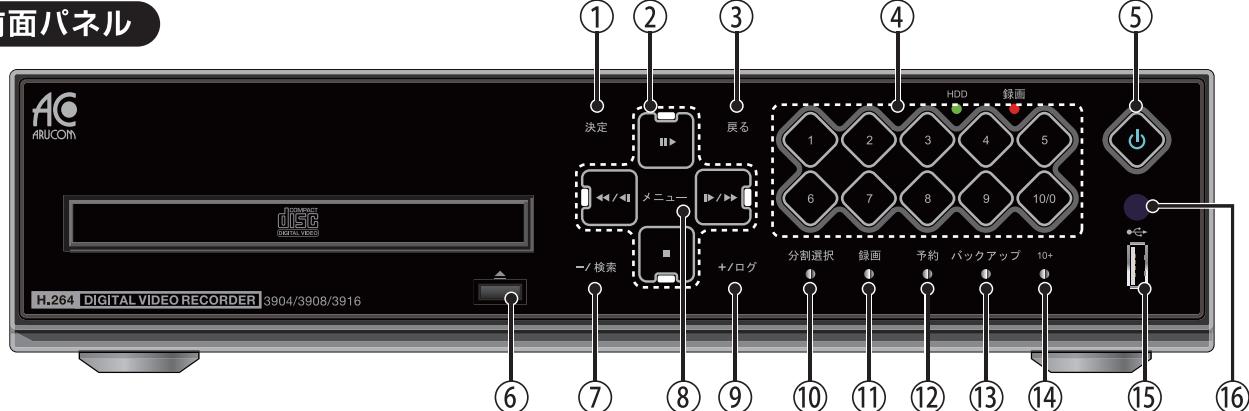
次の部品が入っているかをご確認ください。

- ①電源
- ②AVケーブル
- ③リモコン（単4電池×2付属）
- ④CD-ROM
- ⑤BNC変換プラグ
- ⑥取扱説明書（本書）



各部の名称とはたらき

前面パネル



①	決定	設定を確定します。
②	方向ボタン(上下左右)	メニュー操作時：上下左右にカーソル移動 再生時：早送り、巻き戻し、一時停止、停止、コマ送り、コマ戻し
③	戻る	設定メニューや他モードログイン中に終了・キャンセルします。
④	1~9、10/0	通常時：選択したカメラの映像を全画面表示します。 メニュー操作時：数値の入力。
⑤	電源	電源のON/OFF
⑥	CD/DVD取り出しボタン	CD/DVDトレイを開閉します。
⑦	- / 検索	通常時：録画映像の再生場所を検索して再生します。 メニュー操作時：数値・選択項目の変更
⑧	メニュー	メニュー画面を表示します。
⑨	+ / ログ	通常時：ログリストを表示します。 メニュー操作時：数値・選択項目の変更
⑩	分割選択	分割表示を切替えます。
⑪	録画	録画の開始、停止を行います。
⑫	予約	予約録画の開始、停止を行います。
⑬	バックアップ	録画映像をUSBメモリー・CD/DVD-Rにバックアップ(保存)します。
⑭	10+	11ch～16chを選択するときに使用します。
⑮	USBポート	USBメモリ・マウス・外付HDDを接続します。
⑯	リモコン受信部	受信部に向けてリモコンの操作をします。

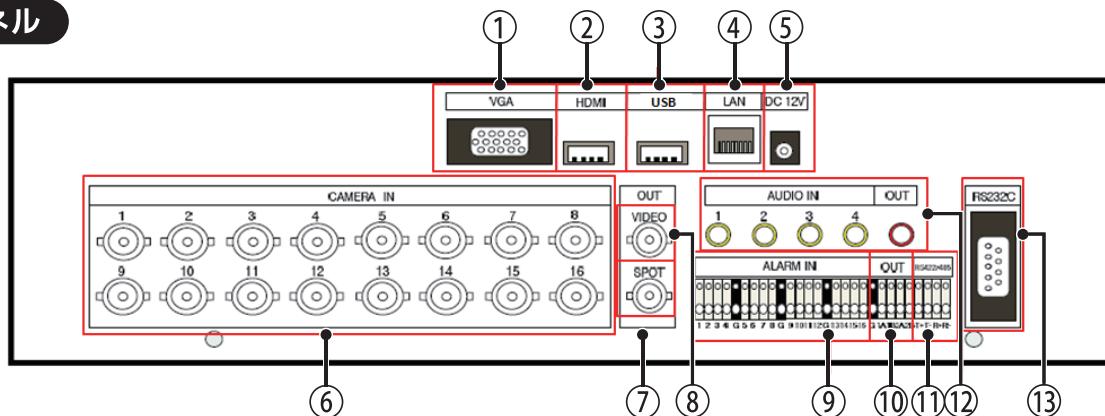
前面パネルのランプ説明



- ① HDD：アクセス時にLEDが緑色に点灯します。
- ② 録画：録画中にLEDが赤く点灯します。
- ③ 電源ボタン：常時LEDが青く点灯します。

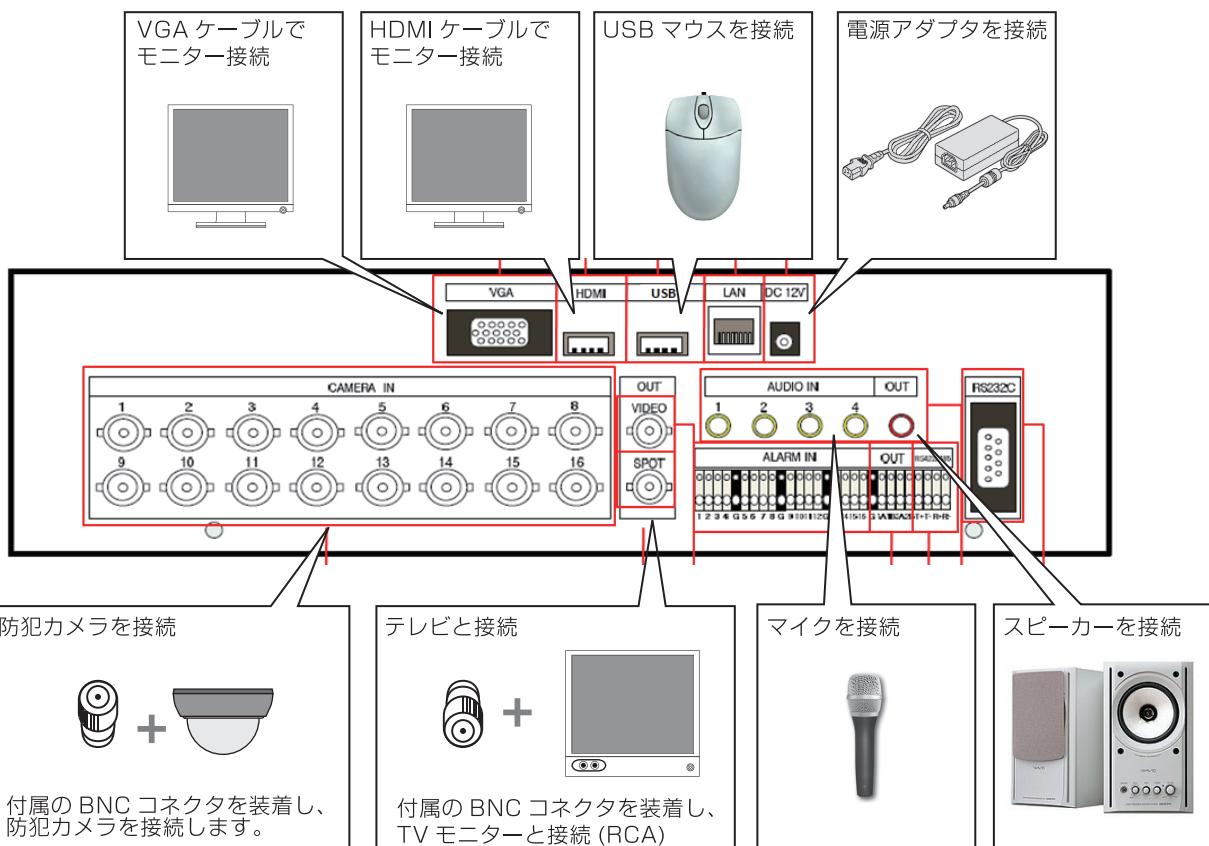
各部の名称とはたらき

背面パネル



(1)	VGA 映像出力端子 (VGA)	(6)	映像入力端子 (BNC)	(11)	PTZ カメラ接続端子
(2)	HDMI 映像出力端子 (HDMI)	(7)	スポット映像出力端子 (BNC)	(12)	音声入力/出力端子。
(3)	MOUSE 接続端子 (USB)	(8)	メイン映像出力端子 (BNC)	(13)	使用しません。
(4)	ネットワーク端子 (LAN 10/100M)	(9)	アラーム入力端子		
(5)	電源アダプタ入力端子 (DC 12V)	(10)	アラーム出力端子		

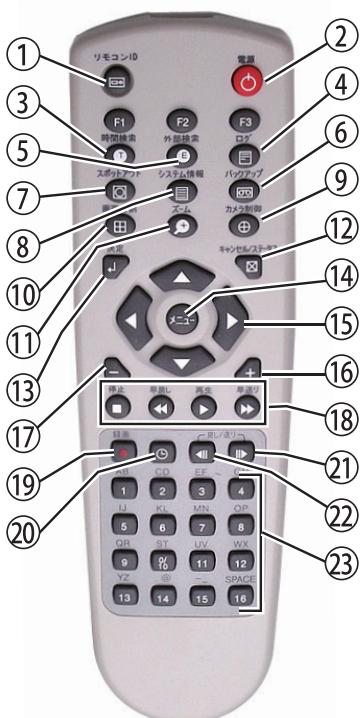
基本接続



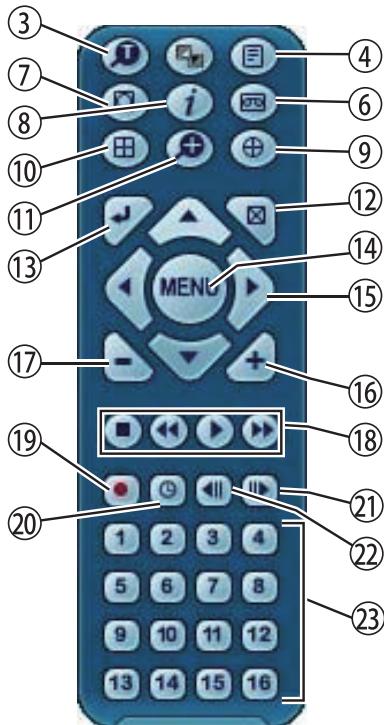
- すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。
- 接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
- AC アダプターの DC プラグは非常に抜けやすい構造となっています。本機を移動する場合は、プラグの抜けに注意してください。

リモコンの各部の名称とはたらき

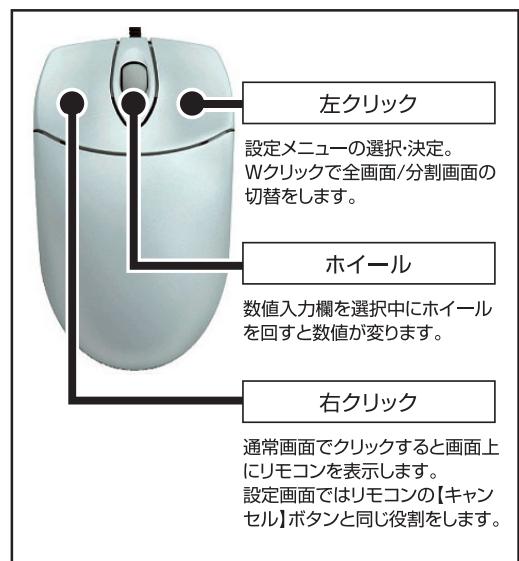
<通常のリモコン>



<マウス操作用リモコン>



<USBマウスの操作方法>



(1)	DVR ID	リモコンのIDを設定します。通常操作では使用しません。	(13)	決定	設定項目の決定を行います。
(2)	電源	電源のON/OFF	(14)	メニュー	設定メニュー画面を表示します。
(3)	時間検索	録画した映像をカレンダーから検索するモードになります。	(15)	方向キー	カーソルを上下左右に動かします。
(4)	ログ	モーション、アラーム、ビデオロスおよびシステム関係のログの表示・再生。	(16)	+ボタン	メニュー操作時に数値・選択項目の変更を行います。
(5)	外部検索	外付けHDDの保存データを表示します。	(17)	-ボタン	メニュー操作時に数値・選択項目の変更を行います。
(6)	バックアップ	USBメモリ、CD-R/DVD-Rに録画データをバックアップします。	(18)	再生中操作ボタン	再生・停止・早送り・巻き戻しを行います。
(7)	スポットアウト	スポット出力に切り替えます。ON/OFF	(19)	録画	録画を開始します。
(8)	システム情報	システム情報を表示します。	(20)	予約録画	予約録画のON/OFFを設定を行います。
(9)	カメラ制御	PTZカメラの操作を行います。	(21)	コマ送り	再生中に映像を1コマずつ送ります。
(10)	画面分割	分割表示種類を切り替えます。	(22)	コマ戻し	再生中に映像を1コマずつ戻します。
(11)	ズーム	全画面での監視・再生中に拡大表示 ON/OFF	(23)	数字&アルファベット	数字、アルファベットの入力の際に使用します。
(12)	キャンセル/ステータス	設定メニュー中や他モードログイン中に終了・キャンセルします。			

<マウス操作用キーボード>



<マウス操作用リモコン(再生中)>



操作前の準備

1. カメラ・モニターを接続し電源を入れます

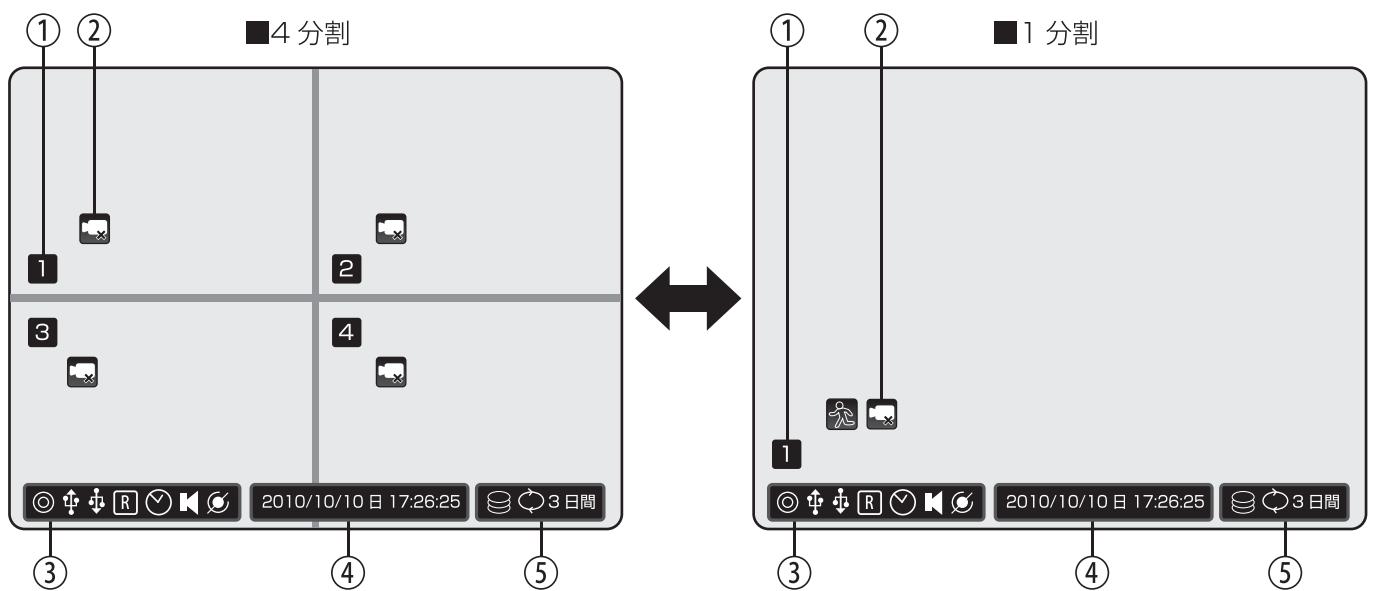
コンセントに接続するだけで自動的に電源が入ります。

2. 映像を確認します

カメラの映像がモニターに映るか確認します。全画面または分割画面で表示されます。

 工場出荷時の段階では電源を入れても録画を開始しない設定になっています。録画は P★★

画面表示



① カメラチャンネルの表示

1 ~ 16 : カメラチャンネル名が表示されます。

② アラームアイコンの表示

 : 動き検知した際に表示します。

 : 映像入力が途切れた際に表示します。

 : アラーム検知した際に表示します。

③ 使用中のアイコンの表示

 : CD・DVDへのバックアップ中に青くなります。

 : 本体前面 USB 端子接続中に表示します。

 : 本体背面 USB 端子接続中に表示します。

 : 通常録画中に表示します。

 : 予約録画中に表示します。

 : 再生中に音声データがある場合に表示します。

 : ネットワークに接続している際に表示します。

④ 日付時刻の表示

本機は日付と時刻により録画映像を管理します。

メニュー設定で必ず正しい日時を設定してください。

設定・変更方法は P12.P84

⑤ HDD 容量と録画日数の表示

 3日間 : 上書き録画設定の場合に表示。
設定・解除方法は P86

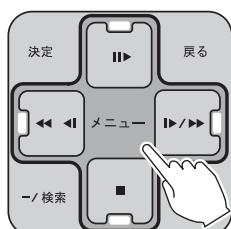
143G 3日間 : 通常録画設定の場合は残りの HDD 容量を表示。
設定・解除方法は P86

操作前の準備 日付・時刻の設定

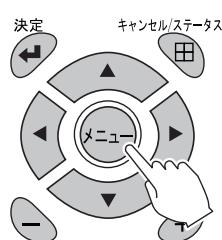
1 クイック設定画面を開きます

本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押すと、クイック設定画面が開きます。

< 本体 >



< リモコン >



本体またはリモコンの「左右カーソル」ボタンを押して変更する数字の入力箇所を選択し、本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを押して値を変更します。
※値の変更は、「数字」ボタンでも可能です。



3 [時間・分・秒] を入力します

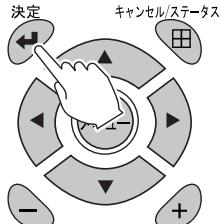
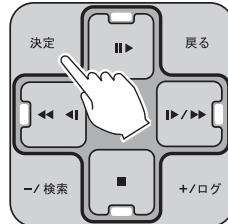
[日付] の設定と同じ手順で [時刻] の設定を行います。

4 設定を確定します

[日付] と [時刻] の入力が終わったら、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押します。
以上で設定完了です。

< 本体 >

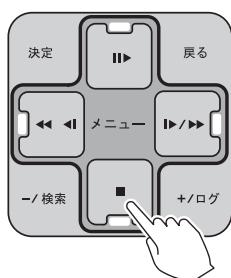
< リモコン >



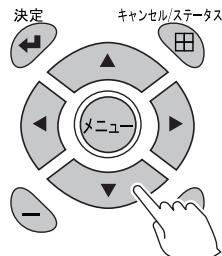
2 [年・月・日] を入力します

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンを押して[日付] にカーソルを合わせます。
※選択された項目は色が青に変わります。

< 本体 >



< リモコン >



メモ インターネットに接続している場合は、自動で日時を同期することができます。P★★



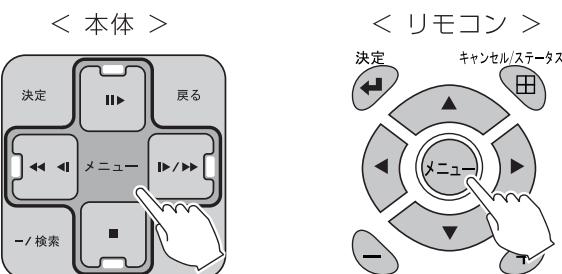
操作前の準備 クイック設定の解除

初期設定では、簡易設定の出来る【クイック設定】モードになっています。
本取扱説明書では【通常設定】モードを選択した状態での解説になっておりますので
下記手順でクイック設定の解除を行ってください。(クイック設定で行える設定は P★★)

クイック設定の解除方法

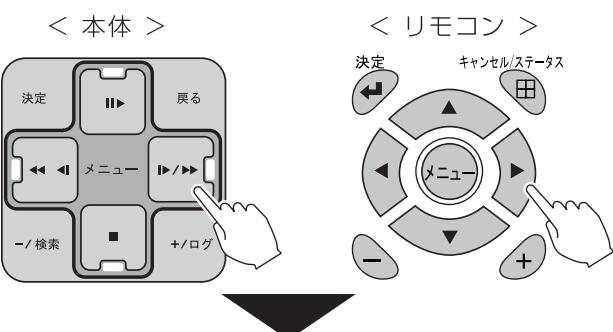
1 クイック設定画面を開きます

本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押すと、
クイック設定画面が開きます。



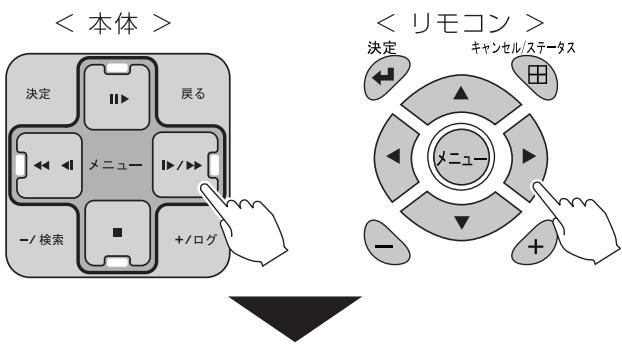
2 [詳細設定] を選択します

本体またはリモコンの「左右カーソル」ボタンを押して
[詳細設定] にカーソルを合わせます。
※選択された項目は色が青に変わります。



3 [詳細設定メニュー] を選択します

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンを押して
[詳細設定メニュー] にカーソルを合わせます。
※選択された項目は色が青に変わります。

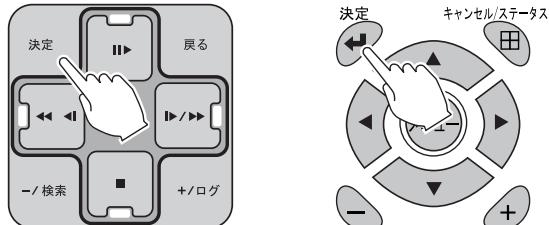


上記の状態で本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを
押して OFF から ON に変更します。



4 設定を確定します

本体またはリモコンの「決定」ボタンを押します。
以上で設定完了です。



カメラ映像の監視

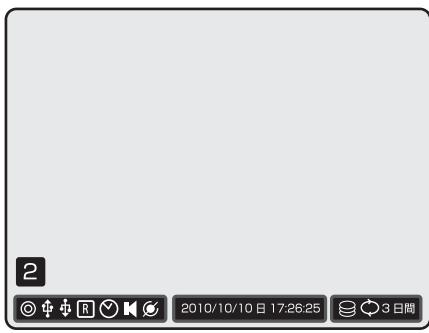
A 1画面表示

例：カメラ2を1画面表示する場合

1 本体もしくはリモコンの「2」ボタンを押す

カメラ2の映像が1画面で表示されます。

< 本体 >



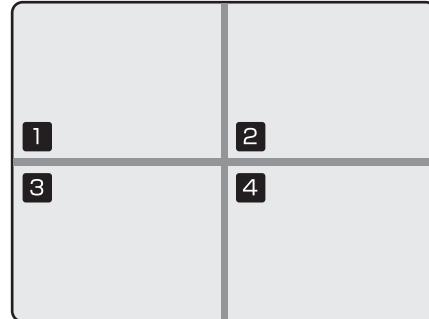
B 分割画面表示

接続しているカメラの映像を同時に表示できます。

1 本体の「分割選択」ボタンまたは、リモコンの「画面分割」ボタンを押す

※4.8.16CHによって分割表示のパターンが異なります。

< 本体 >



2 1画面に戻すときは、リモコンの「1～16」ボタンのいづれかを押す

< 本体 >



< リモコン >



C カメラ自動切換

カメラの映像を順番に自動で切り替えます。

1 本体の「分割選択」ボタンまたは、リモコンの「画面分割」ボタンを1秒間長押しする

表示中のカメラからチャンネル番号順に、自動的にカメラが切りわります。

< 本体 >



2 終了するときは、本体の「分割選択」ボタンまたは、リモコンの「画面分割」ボタンを押す

自動切換が解除されます。

< 本体 >



< リモコン >



メモ 切換時間や表示方法を設定することができます。
(P70)

録画

本機には以下の録画モードがあります。
録画に必要な解像度、フレームレート、画質は<メインメニュー>の「録画設定」でおこなってください。(P★★★)

A リアルタイム録画... P15

監視中の映像を手動で録画・停止します。

B 予約録画... P15

曜日ごとに指定した時間帯だけを録画します。

C モーション・アラーム録画... P18

映像内の動き・外部センサーが反応した際に録画します。

D 簡易設定録画... P19

録画サイズ・録画期間のみを設定して録画します。

A リアルタイム録画

1 ライブ映像を監視中に本体またはリモコンの「録画」ボタンを押す

画面下に「」が表示され、録画が始まります。

< 本体 >



< リモコン >

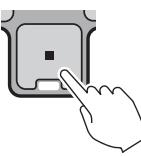


録画

2 終了する時は、本体の「■」ボタンまたはリモコンの「停止■」ボタンを押す

録画表示の「」が消え、リアルタイム録画が終了します。

< 本体 >



< リモコン >



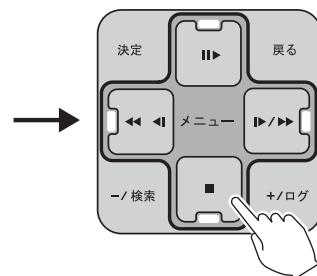
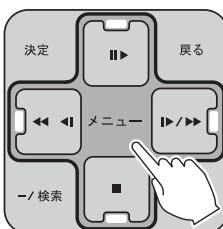
録画

B 予約録画

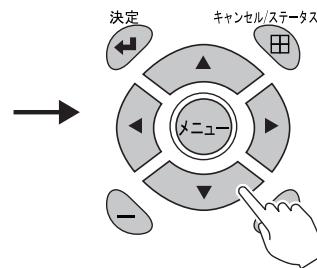
1 予約録画設定を開く

本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してメニュー画面を開き、「上下左右カーソル」ボタンで[予約録画]を選びます。

< 本体 >



< リモコン >



本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して「予約録画」メニューを開きます。

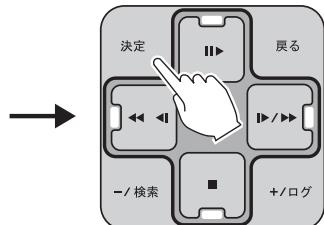
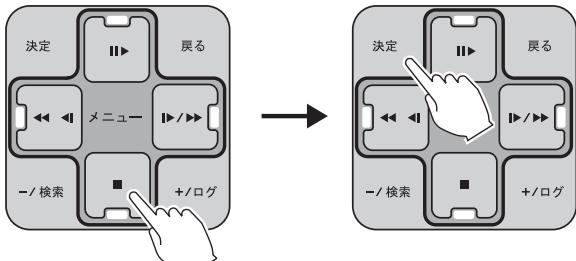


録画

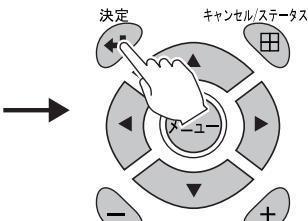
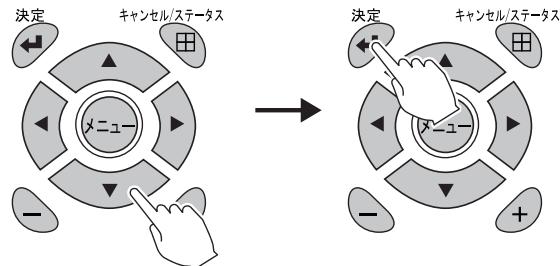
2 予約録画の曜日を選ぶ

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンで設定する〔曜日〕を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して録画する時間帯を登録する画面を表示します。

< 本体 >



< リモコン >



3 録画する時間を設定する

本体またはリモコンの「左右カーソル」ボタンを押して変更する数字の入力箇所を選択し、本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを押して値を変更します。
※値の変更は、「数字」ボタンでも可能です。

開始：録画を開始する時間

終了：録画を終了する時間

モード：録画するモードを選択します

※モードの説明は P73

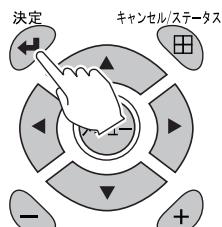
4 設定を確定します

〔日付〕と〔時刻〕の入力が終わったら、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押します。
以上で設定完了です。

< 本体 >



< リモコン >



- ・録画時刻は24時制でセットします。(00:00 - 23:59).日付を超える場合は2日分設定します。

曜日	開始	終了	モード
月	18:00	23:59	モード 1
火	00:00	08:59	モード 1

- ・終了時刻が開始時刻より前の場合は、録画は開始されません。

例)

曜日	開始	終了	モード
月	18:00	08:59	モード 1

録画

録画モード 1 ~ 4について

予約録画のコマ数・画質・モーション(ON/OFF)・アラーム(ON/OFF)の録画が可能です。

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンで設定する[曜日]を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して録画する時間帯を登録する画面を表示します。

コマ数 / 1秒間：コマ数を設定します

画質：録画画質を設定します

モーション：撮影範囲内に動きがあった時のみ録画します。

ALARM：外部アラーム機器に反応があった時のみ録画します。



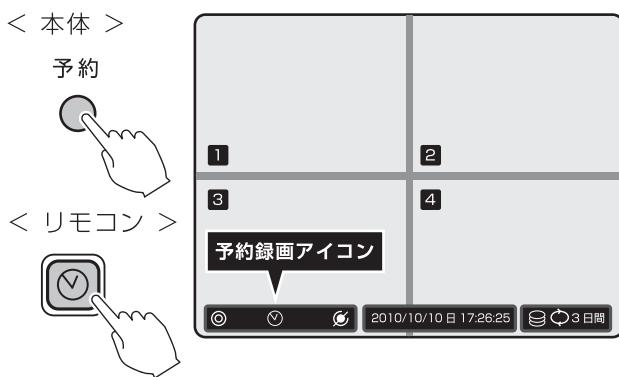
The screenshot shows a software interface titled '予約録画' (预约録画設定) displaying a list of scheduled recordings. Each entry includes a small icon, a number (1 through 8), and four parameters: コマ数/1秒間 (Frame rate), 画質 (Quality), モーション (Motion), and ALARM. All entries show '7 F/S' for frame rate, 'HIGH' for quality, 'OFF' for motion, and 'ON' for alarm.

	コマ数/1秒間	画質	モーション	ALARM
1	7 F/S	HIGH	OFF	ON
2	7 F/S	HIGH	OFF	ON
3	7 F/S	HIGH	OFF	ON
4	7 F/S	HIGH	OFF	ON
5	7 F/S	HIGH	OFF	ON
6	7 F/S	HIGH	OFF	ON
7	7 F/S	HIGH	OFF	ON
8	7 F/S	HIGH	OFF	ON

設定後に下記の操作方法で予約録画を行います

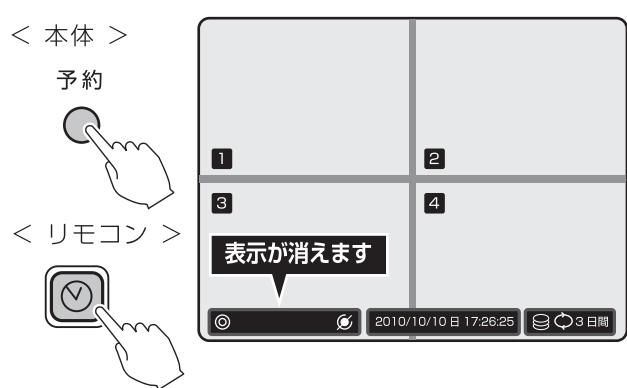
- 1 ライブ映像を監視中に本体の「予約」ボタンまたはリモコンの「」ボタンを押す

画面下に「」が表示され、録画が始まります。



- 2 終了する時は、本体の「予約」ボタンまたはリモコンの「」ボタンを押す

録画表示の「」が消え、予約録画が終了します。



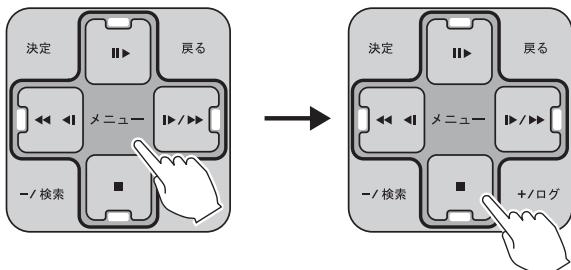
録画

C モーション・アラーム録画

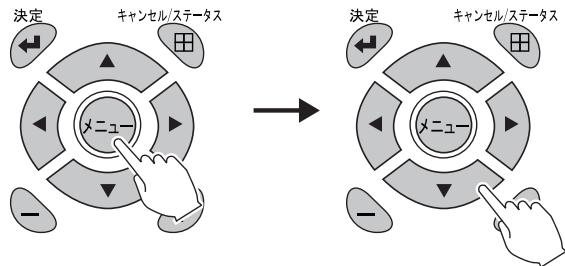
1 録画設定を開く

本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してメニュー画面を開き、「上下左右カーソル」ボタンで[録画]を選びます。

< 本体 >



< リモコン >



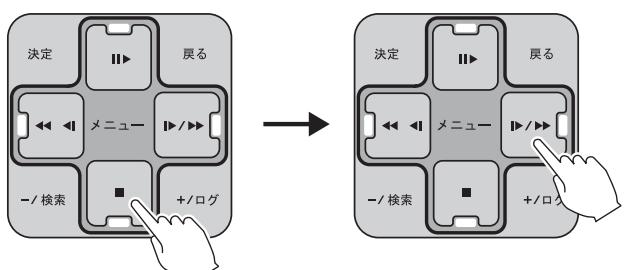
本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して「予約録画」メニューを開きます。



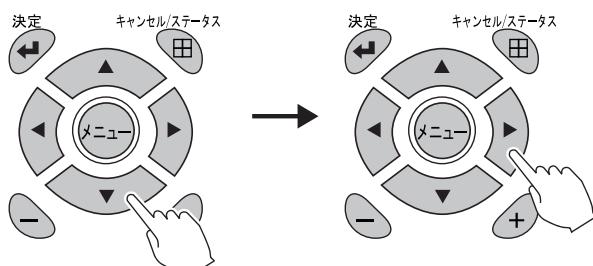
2 モーション・アラームを設定する

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンで設定する[カメラ]を選択し、本体またはリモコンの「左右カーソル」ボタンを押してモーションの列までカーソルを移動します。

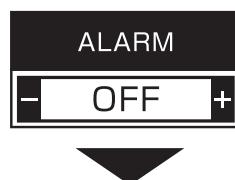
< 本体 >



< リモコン >



本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを押して値を[OFF]から[ON]に変更します。



3 設定を確定する

本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して設定の変更を確定します。

メインメニューに戻るので、本体またはリモコンの「キャンセル」ボタンを押して通常監視画面に戻ります。

録画

設定後に下記の操作方法で予約録画を行います

4 ライブ映像を監視中に本体またはリモコンの「録画」ボタンを押す

画面下に「**R**」が表示され、録画が始まります。

< 本体 >



< リモコン >



5 終了する時は、本体の「■」ボタンまたはリモコンの「停止■」ボタンを押す

録画表示の「**R**」が消え、リアルタイム録画が終了します。

< 本体 >



< リモコン >



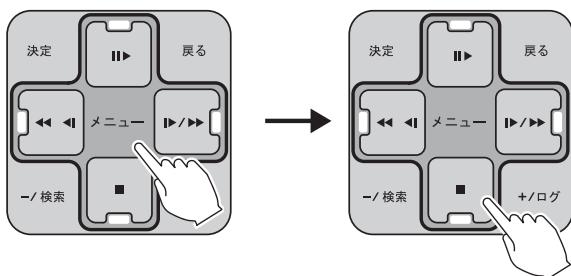
メモ 切換時間や表示方法を設定することができます。
(P★★)

D 簡易設定録画

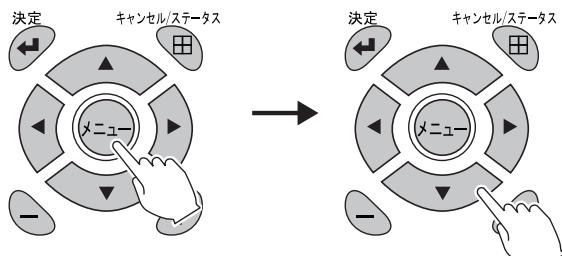
1 録画設定を開く

本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してメニュー画面を開き、「上下左右カーソル」ボタンで「画面」を選びます。

< 本体 >



< リモコン >



本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して「画面」メニューを開きます。

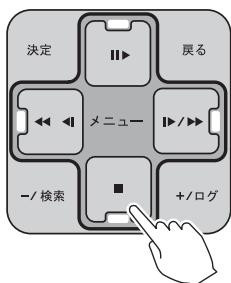


録画

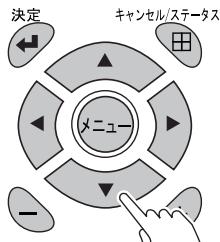
3 [詳細設定メニュー] を選択します

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンを押して
[クイック設定] にカーソルを合わせます。
※選択された項目は色が青に変わります。

< 本体 >



< リモコン >



上記の状態で本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを
押して OFF から ON に変更します。



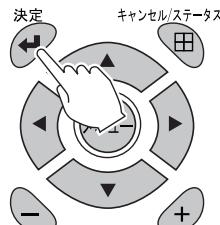
4 設定を確定します

本体またはリモコンの「決定」ボタンを押します。
本体またはリモコンの「キャンセル」ボタンを押して、
通常監視画面に戻ります。

< 本体 >



< リモコン >



録画した映像の再生

録画した映像の再生方法には以下の種類があります。

A ノーマル再生... P21

5分前の録画映像から再生します。

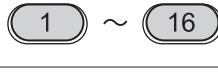
C ログからの再生... P23

モーション・アラーム・ビデオロスおよびシステム関係のログから選択して再生します。

B 時間検索再生... P22

カレンダーから日時を選択し再生します。

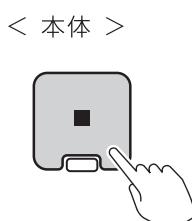
■再生中の各ボタンのはたらき

本体のボタン	リモコンのボタン	動作内容
	再生 	映像の再生、一時停止を行います。 ※リモコンの場合、もう一度押すと再生になります。
	早送り  コマ送り 	押すごとに早送りスピードが早くなります。 速度 1(標準)→×2→×4→×8→×16
	早戻し  コマ戻し 	押すごとに巻き戻しスピードが早くなります。 速度 1(標準)→×2→×4→×8→×16
	停止 	再生を停止します。
		選択した番号のカメラを全画面表示します。 ※カメラ最大接続台数 4ch/8ch/16ch によって異なります
分割選択 	画面分割 	分割表示種類を切り替えます。
※対応ボタンなし	ズーム 	拡大表示(2倍・4倍ズーム)のON/OFF ※上下左右ボタンで範囲のカーソル移動、決定ボタンでズーム表示。

A ノーマル再生

- 1 ライブ映像を監視中に本体の [] ボタン
またはリモコンの「再生」ボタンを押す

常時録画を行っている場合、5分前から再生を開始します。
停止する際は、本体またはリモコンの停止ボタンを押します。



録画した映像の再生

B 時間検索再生

1 時間検索画面を開く

本体の「検索」ボタンまたはリモコンの [時間検索] ボタンを押して時間検索画面を開きます。

< 本体 >



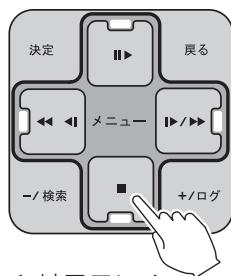
< リモコン >



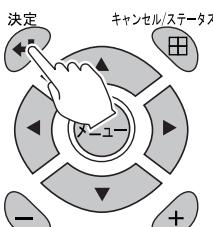
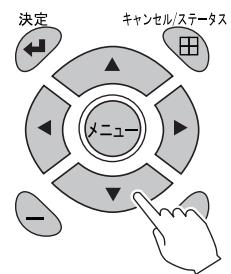
2 再生する日付を選択する

本体またはリモコンの「上下左右カーソル」ボタンを押して再生する日付を選び、「決定」ボタンを押して、「詳細時間検索画面」を開きます。

< 本体 >



< リモコン >

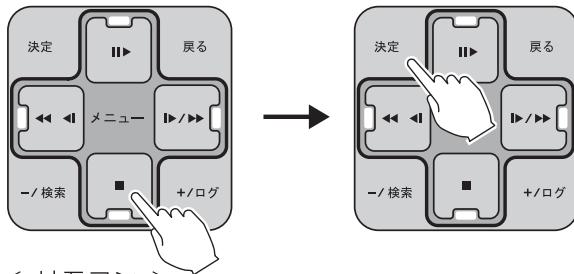


録画した映像の再生

3 再生開始時間 выбирает и воспроизводит

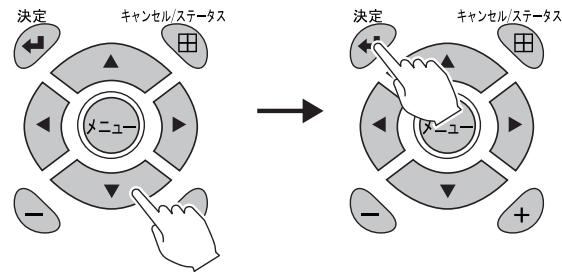
本体またはリモコンの「上下左右カーソル」ボタンを押して再生開始する場所を [時間] [分] [カメラ] から選び、「決定」ボタンを押すと再生が開始します。

< 本体 >

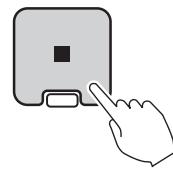


メモ 再生を停止する際は、本体またはリモコンの停止ボタンを押します。

< リモコン >



< 本体 >



< リモコン >

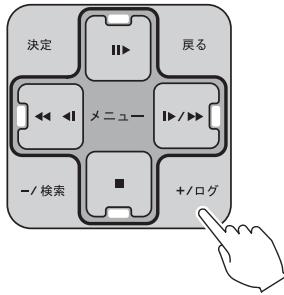


C ログからの再生

1 ログ画面を開く

本体またはリモコンの [ログ] ボタンを押してログ画面を開きます。

< 本体 >



< リモコン >

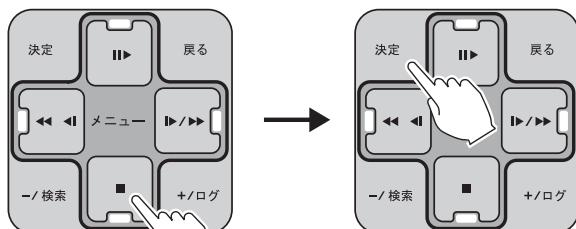


録画した映像の再生

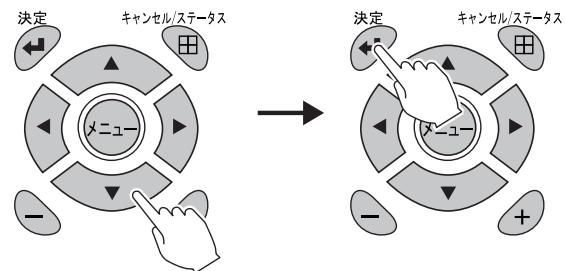
2 リストから再生開始場所を選び再生する。

本体またはリモコンの「上下左右カーソル」ボタンを押して再生開始する場所をリストから選び、「決定」ボタンを押すと再生が開始します。

< 本体 >

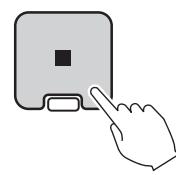


< リモコン >



メモ 再生を停止する際は、本体またはリモコンの停止ボタンを押します。

< 本体 >



< リモコン >



ログリスト一覧

SYSTEM STARTUP	システム開始
SYSTEM STOP	システム終了
SYSTEM CHECK (PL)	Power Loss(Fail)
SYSTEM CHECK (WD)	WatchDog
SYSTEM CHECK (APP: {pmid})	プログラム再起動時CHECK問題表示
NORMAL RECORD START	一般録画開始
NORMAL RECORD STOP	一般録画終了
SCHEDULE RECORD START	予約録画開始
SCHEDULE RECORD STOP	予約録画終了
HDD FAIL ({hddfail})	ディスクWriting失敗
PLAYBACK START	再生開始
PLAYBACK STOP	再生終了
CONNECT ({ip})	CMS接続
DISCONNECT ({ip})	CMS接続終了
LIVE VIEW ({ip})	CMSモニタリング開始
PLAYBACK ({ip})	CMS再生開始
DOWNLOAD ({ip})	CMSファイルダウンロード開始
SAVE CONFIG ({ip})	CMSでDVR設定変更
SNAPSHOT ({ip})	CMSでsnapshot保存

{user} LOGIN ({ip})	CMSログイン
CAMERA {ch} VIDEO LOSS	映像入力不可
CAMERA {ch} MOTION	モーション発生
CAMERA {ch} ALARM	アラーム発生
{user} LOGIN ({purpose})	Password確認
SAVE CONFIG	設定保存
UPGRADE ({version})	アップグレードファイルのバージョン表示
INTERNAL DISK FORMAT	内蔵ディスクフォーマット
AUTO BACKUP START ({device})	自動バックアップ開始
AUTO BACKUP STOP ({device})	自動バックアップ終了
MANUAL BACKUP START ({device})	受動バックアップ開始
MANUAL BACKUP STOP ({device})	受動バックアップ終了
FILE SYSTEM CHECK	ファイルシステム点検
DATA REPAIR	Data復旧
KEY INPUT ({pmid};{key})	キー入力
APP RESPAWN ({pmid})	プログラム再開始
APP KILL ({pmid})	プログラム強制終了
APP EXECUTE ({pmid})	プログラム実行
UNKNOWN LOG DATA	不明なログデータ

録画映像を外部メディアにコピーする

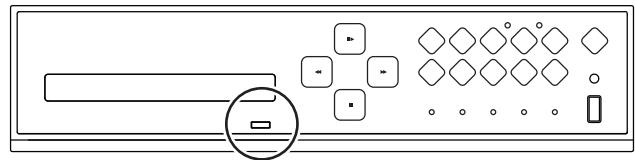
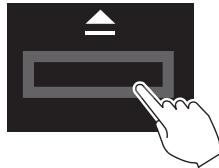
録画した映像を USB メモリー、外付け HDD(USB)、CD-R、DVD-R にコピーすることができます。
コピーした映像はパソコンで見ることができます。

1 メディアを挿入する

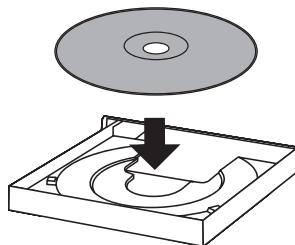
本体前面にある CD トレイに CD-R/DVD-R を挿入もしくは USB メモリー挿入口に USB メモリー、外付け HDD を挿入します。

メモ CD トレイの開閉には、トレイ右下にあるボタンを押してください。無理にこじ開けたりすると故障の原因になります。くれぐれもご注意ください。

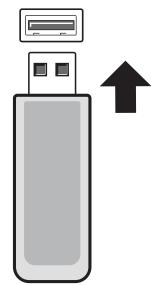
< CD トレイ開閉ボタン >



CD トレイ開閉ボタン



CD-R/DVD-R



USB メモリー、外付け HDD

2 バックアップ画面を表示する

本体またはリモコンの「バックアップ」ボタンを押してバックアップ画面を表示します。

< 本体 >



< リモコン >



<< バックアップ画面の説明 >>

① 保存先

データを保存するメディアを選択します。

② 選択

データを保存するカメラチャンネル、録画データの種類を選択します。

③ 期間

バックアップの開始時間と終了時間を設定します。

④ 保存

スタートボタンを押すと保存が開始します。

HDD へのバックアップ注意点

外付け HDD を接続した際に、保存先に【USB(前面) - HDD(フォーマット必要)】と表示された場合は一度フォーマットを行う必要があります。フォーマットの説明は P86

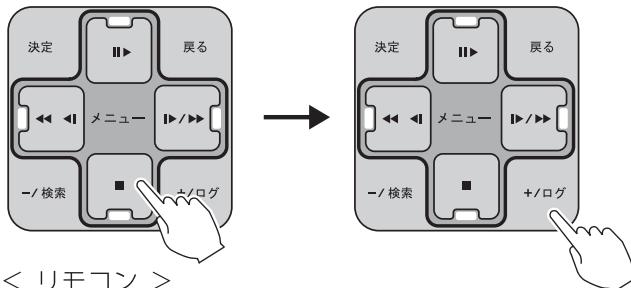
25 使いかた

録画映像を外部メディアにコピーする

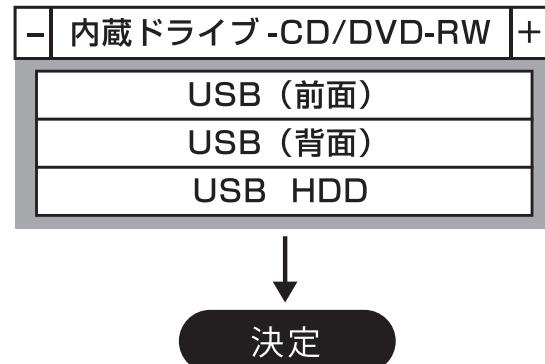
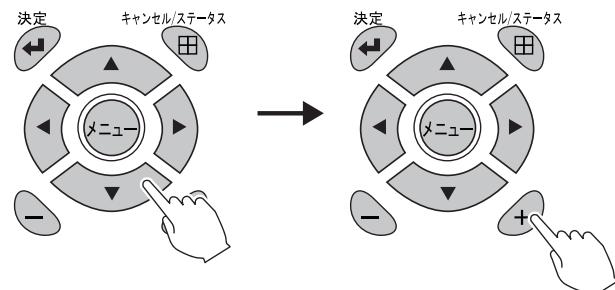
3 保存先を決める

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンを押して[保存先]を選択した状態で、本体またはリモコンの[+][-]ボタンを押して保存先を指定します。

< 本体 >

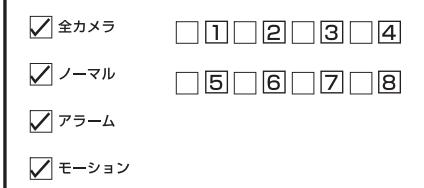


< リモコン >



4 保存するデータを決める

本体またはリモコンの「上下左右カーソル」ボタンを押して[チェックボックス]を選択した状態で、本体またはリモコンの[+][-]ボタンを押してチェックをします。



5 保存する期間を決める

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンを押して[期間]を選択した状態で、本体またはリモコンの[1～9]の数字ボタンを押して期間を決めます。



6 保存を開始する

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンを押して[保存]のスタートボタンを選択した状態で、本体またはリモコンの[決定]ボタンを押すと保存を開始します。

スタート

バックアップデータの再生

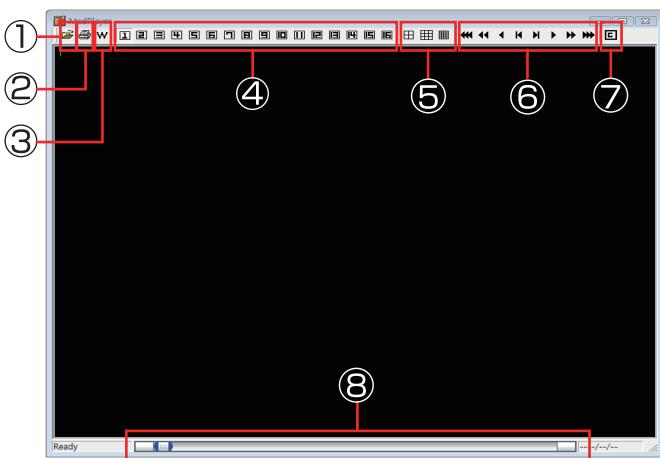
USBメモリー、外付けHDD(USB)、CD-R、DVD-Rに保存したデータをパソコンで再生することができます。

1 PCにコピーしたメディアを挿入する

パソコンにある USB 挿入口または CD トレイに
録画データを保存したメディアを挿入します。

2 再生ソフトを起動する

記録メディアのフォルダ内にある【mcdplayer(.exe)】
をダブルクリックすると再生を開始します。



① 再生するファイルを開きます。

複数の録画データがある場合はここから
ファイルを選んで再生します。

② 印刷

再生画面を印刷します。

③ W

録画データの改ざんの有無を調べます。
ファイルを開いた状態で【W】ボタンを押し、
「Has not been tampered」
と表示されれば改ざんされていないことが
わかります。

④ 画面表示チャンネル選択

全画面で表示するカメラCHを選びます。

⑤ 分割画面表示選択

分割表示の種類を選びます。

⑥ 再生ボタン

再生中に使用します。

アイコン	動作内容
▶	再生、再生スピードを通常速度に戻します。
▶▶	早送り（速度 2 倍）
◀◀	早戻し（速度 2 倍）
▶▶▶	早送り（速度 4 倍）
◀◀◀	早戻し（速度 4 倍）
▶▶▶▶	コマ送り
◀◀◀◀	コマ戻し

⑦ キャプチャボタン

再生中の映像から画像(JPEG)を作成します。

⑧ スライドバー

再生中の場所がわかります。マウスでドラッグして再生
場所を移動することができます。

バックアップデータのAVIファイル変換方法

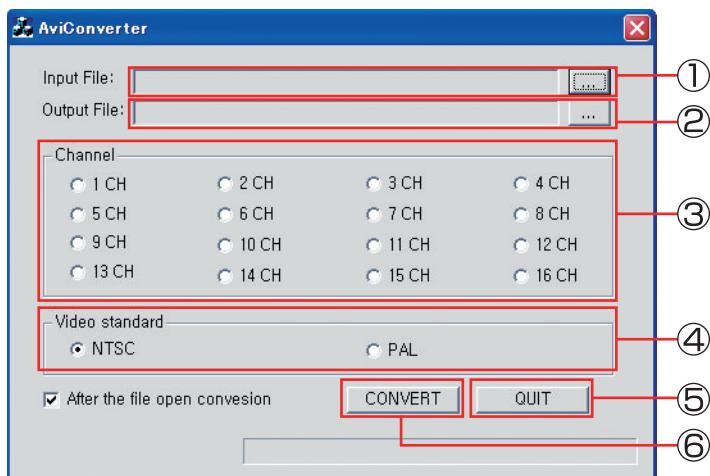
バックアップしたデータを一般的な動画再生ソフトで再生が可能な AVI ファイルに変換することが可能です。

① PC にコピーしたメディアを挿入する

パソコンにある USB 挿入口または CD トレイに
録画データを保存したメディアを挿入します。

② ファイル変換ソフトを起動する

記録メディアのフォルダ内にある 【aviconverter.exe】
をダブルクリックしてソフトを起動します。



① 変換するファイルを開きます。

AVIファイルに変換するファイルを開きます。

② 保存先、ファイル名を決めます。

※設定しない場合は変換するファイルと同じ場所に
同じ名前でAVIファイルが作成されます。

③ チャンネル

カメラのチャンネルを選択して変換します。

④ 映像の種類

日本国内の場合は、[NTSC]を選択します。

⑤ QUIT

変換せずに終了します。

⑥ CONVERT

変換を行います。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

プレーヤープログラム紹介

DVRプレーヤープログラムを通じて、ライブ監視、映像検索などDVRの設定ができます。また、10台までのDVR同時遠隔制御します。1台のDVRには遠隔接続が同時に三つまで可能です。個々のユーザーはDVRを別々に操作可能ですが、設定は同時に行なうことはできません。

携帯電話による監視方法は P89 を参照してください。

PC 推奨仕様

推奨	
OS	Windows XP,VISTA
CPU	Pentium IV 2.8 G
RAM	512MB RAM
ビデオ・カード	16MB
HDD空容量	2 GB
解像度	1024*768
その他	Direct X 8.0以上
	オーバーレイYUY2支援

PCが最低のシステム条件を満たさない場合、CMSソフトウェアが正常に動作しないことがあります。CMSと関連する全てのプログラムは、シングル・タスク環境でテストされています。そのため複数のタスクが同時に実行されている場合、予期しないエラーが発生することがあります。さらに、PCに不適切なコードックがインストールされている場合、プログラムが誤作動することがあります。

特に複数のDVRをモニタリングする場合には、PCやネットワークの性能に十分余裕を持たせるようにしてください。

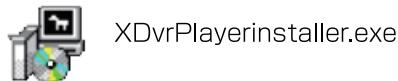
DirectX 6.0以下のバージョンがインストールされている場合、CMSは実行できません。

Microsoftから、最新のDirectXをダウンロードしてください。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

インストール方法

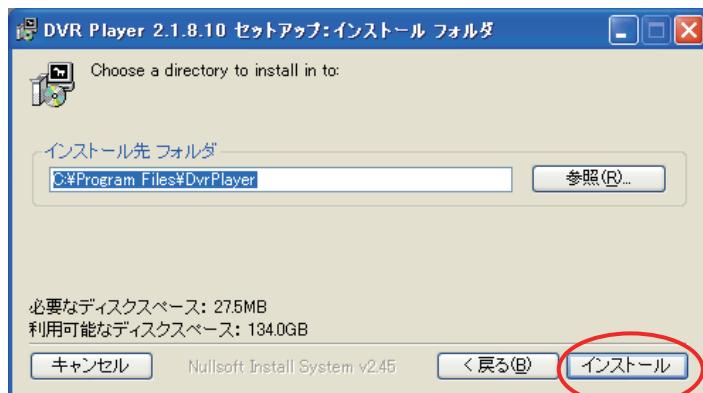
(1) CD-ROMに“Client Install CD”を挿入し、“XDvrPlayerinstaller.exe”をダブルクリックします。



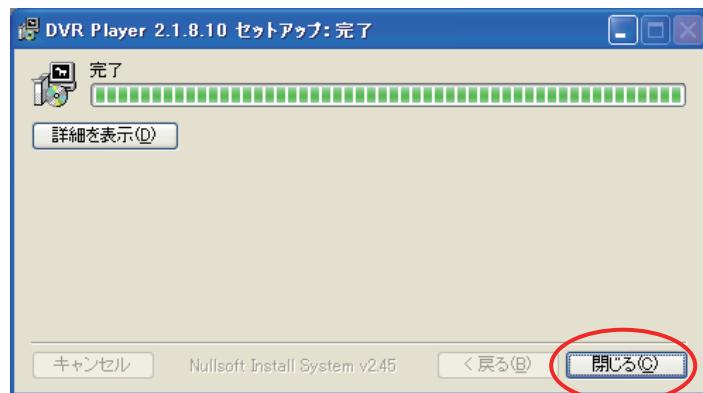
(2) 下図の「次へ」ボタンをクリックします。



(3) 「インストール」をクリックします。必要な場合、フォルダを指定してから“Install”をクリックします。



(4) 下のダイアログ・ボックスが出ると「閉じる」ボタンを押します。



(5) デスクトップにCMSのアイコン が生成されます。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

- (6)  をダブルクリックし、パスワードを入力、OKをクリックするとCMSソフトが開きます。



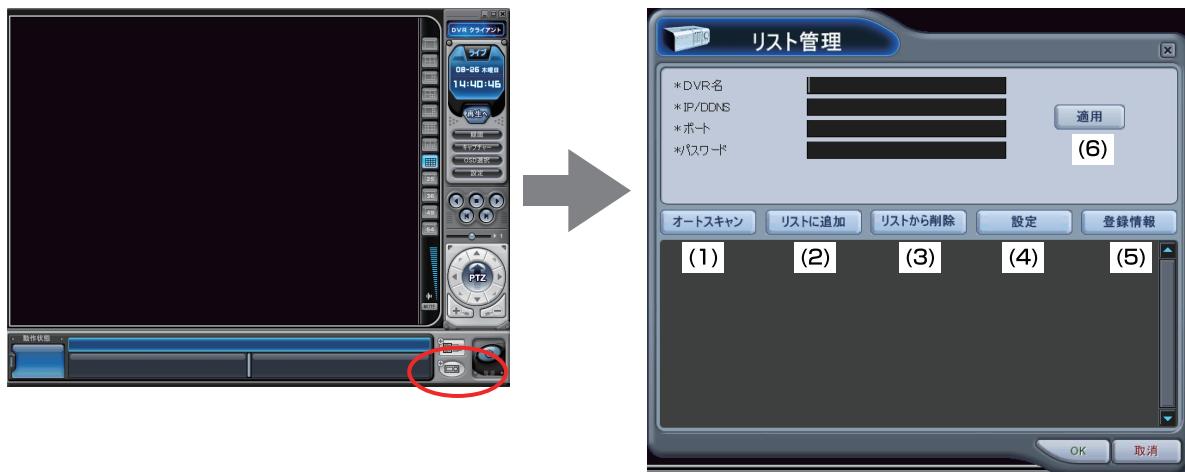
初期設定のパスワードは半角「0」です。パスワード変更はCMS Setup設定を参照してください。
画面を閉じる場合は“ESC”を押します。

インストールしたソフトを利用してDVRに接続したカメラ映像を見ることができます。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 DVRの登録

DVRの登録

 をクリックするとリスト管理画面が表示されます。



- (1) オートスキャン : 同一ネットワーク内に接続されたDVRを自動的に見つけます。
- (2) リストに追加 : CMSにDVRを追加します。
- (3) リストから削除 : CMSリストから選択されたDVRを削除します。
- (4) 設定 : 選択されたDVRのメニュー設定を表示します。
- (5) 登録情報 : DVR名、IPアドレスのような情報を提供します。
- (6) 適用 : 選択されたDVRの設定を変更するために使用します。

■リスト管理画面へ直接入力で追加する

以下のステップで「リスト管理画面」にDVRを追加します。

[STEP1] DVR名・・・ ウィンドウに表示させるためのDVR名を入力します。 (任意)

[STEP2] IP/DDNS ・・・ IPアドレスを入力します。

(DVRのIPアドレスまたは固定IPアドレスまたはDNS名)

(<例：192.168.0.52 >またはDNS名<例：demo.dvrhost.com>)

[STEP3] ポート ・・・ DVRに設定されているポート番号を入力します。 (初期値 : 7000)

[STEP4] パスワード ・・・ パスワードを入力します。

- 管理者パスワード : 全機能が使用できます。

- ユーザーパスワード : ライブ監視、遠隔再生、検索が使用できます。

[STEP5] **適用** をクリックします。

[STEP6] リストに追加・・・ **リストに追加** をクリックすると「リスト管理画面」へDVRの追加が完了します。

[STEP7] 変更を保存してメニューを終了します："OK" をクリック

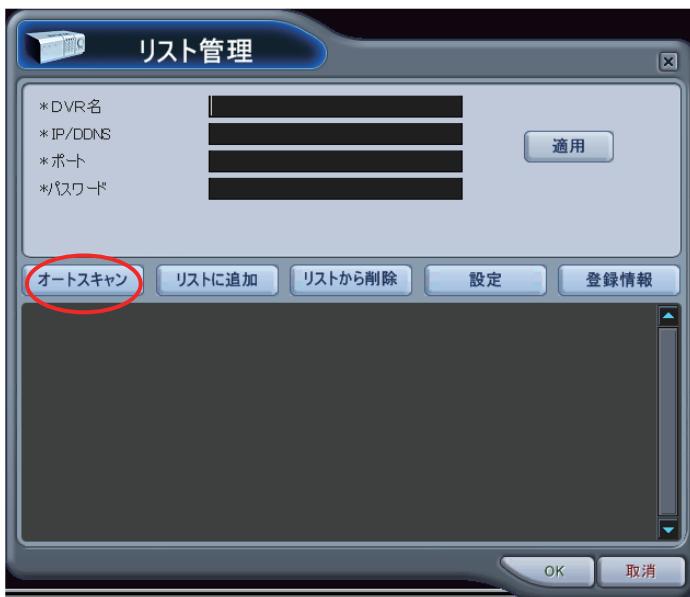
■ 変更せずにメニューを終了する場合は " 取消 " をクリックします。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

■リスト管理画面へオートスキャンを使って追加する

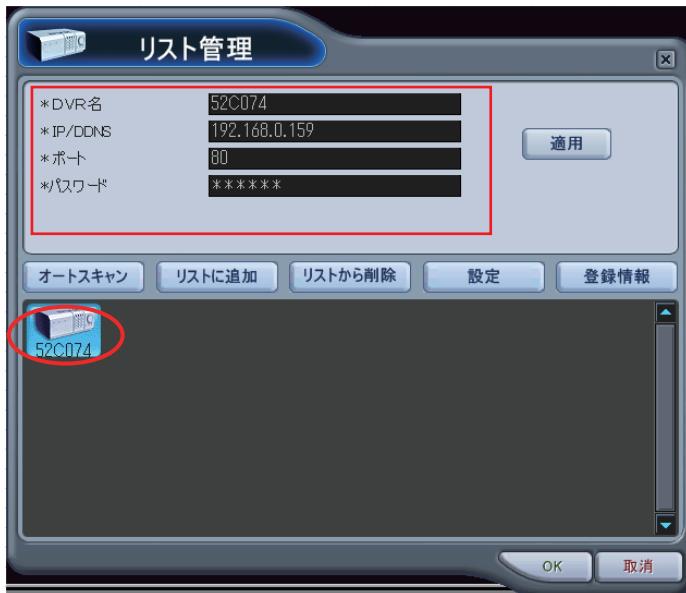
同一ネットワーク内に接続されたDVRの登録は「オートスキャン」を使うと簡単に登録が可能です。

【STEP1】 「オートスキャン」ボタンをクリックすると、同一ネットワーク内に接続された DVRを自動的に見つけます。



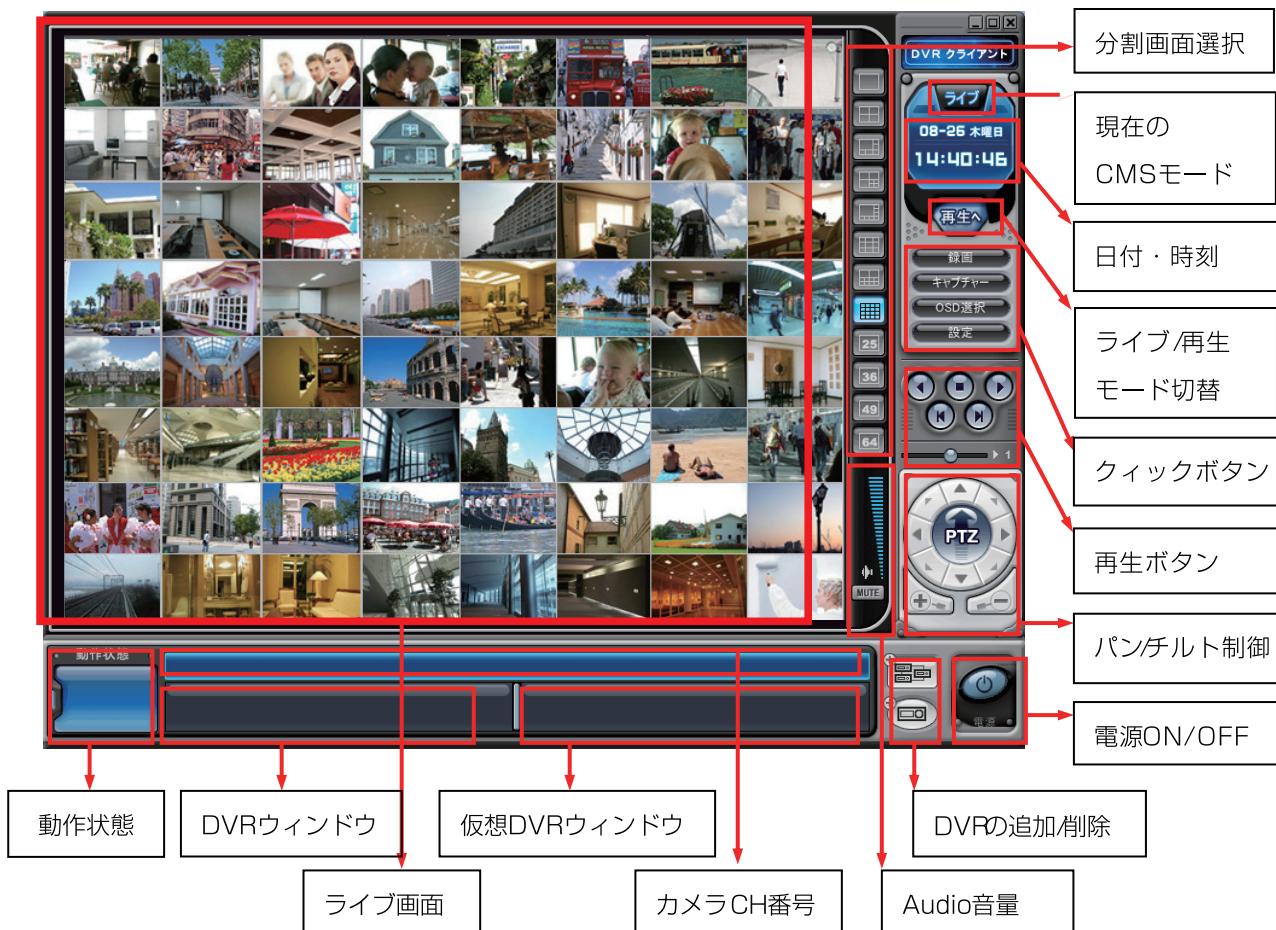
【STEP2】 オートスキャン後、「リスト管理画面」に同一ネットワークに接続されたDVRが表示されます。

※DVRのアイコンをクリックするとDVR名などの情報が表示されます。



ネットワーク接続による遠隔監視方法 画面表示

CMSソフトを利用した監視画面の説明です。



(1) 分割画面の選択

- | | | | |
|----|-------|----|--------|
| a. | 1画面表示 | g. | 10画面表示 |
| b. | 4画面表示 | h. | 16画面表示 |
| c. | 6画面表示 | i. | 25画面表示 |
| d. | 7画面表示 | j. | 36画面表示 |
| e. | 8画面表示 | k. | 49画面表示 |
| f. | 9画面表示 | l. | 64画面表示 |

ネットワーク接続による遠隔監視方法

(2) 日時表示

ライブモードではPCの現在時刻を、再生モードでは再生時刻を表示します。



(3) ライブ/再生モード切替

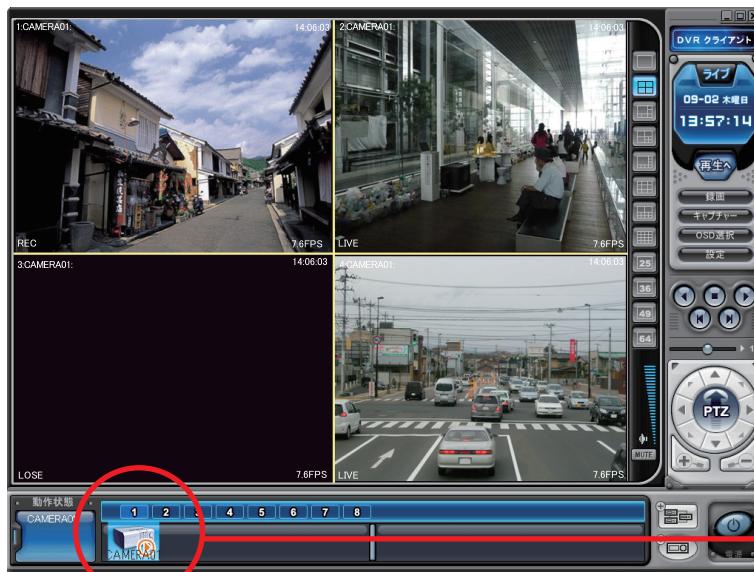
- a. ライブモード
- b. ダウンロードファイルの再生

(4) クイックボタン

- a. 録画 現在のライブ映像をパソコンに動画で録画します。遠隔録画中は
録画ボタンの色が水色に変化します。
(保存先の初期設定: C:\Program Files\ DVRPlayer\Download)
- b. キャプチャー 現在モニタリング中の画像を静止画で保存または印刷します。
- c. OSD選択 オンスクリーン表示のON・OFFボタン。
- d. 設定 CMS設定。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 ライブ監視

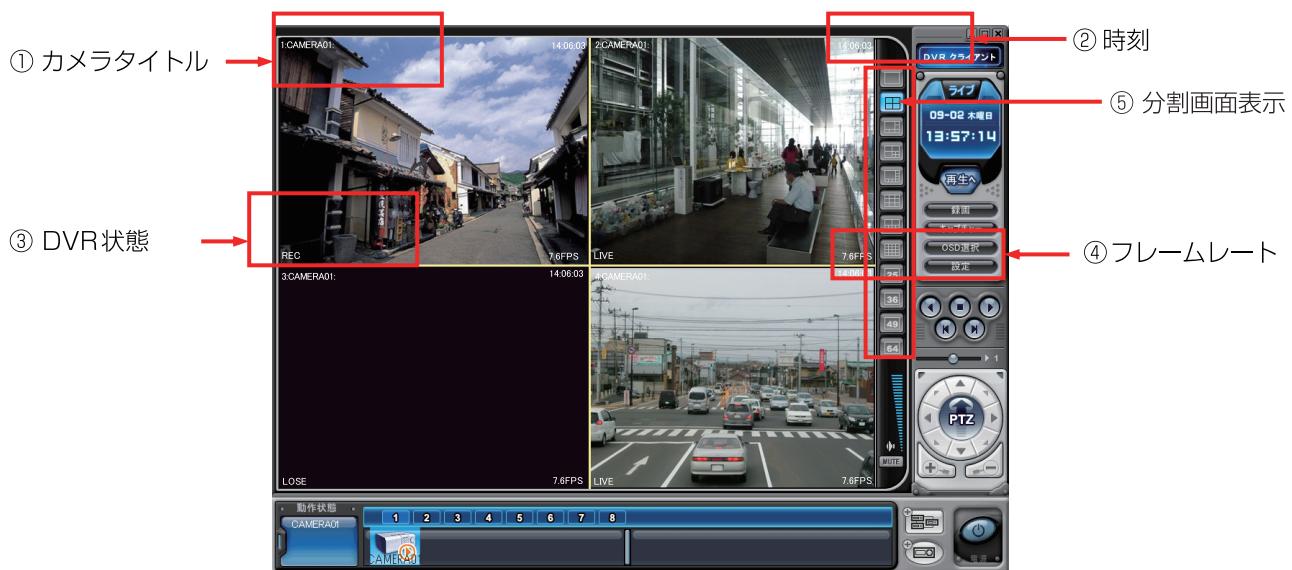
ライブ監視



個別DVRのモニタリング



をダブルクリックすると、
ライブ映像が表示されます。



ネットワーク接続による遠隔監視方法

1) カメラタイトル

次の順で表示します。カメラ番号- DVR名またはHost名-カメラ。

2) 時刻

時刻を表示します。

3) DVR状態

録画、ネットワーク接続、映像信号なし、イベントおよび現在の状態の表示

表示	状態
REC	ノーマル録画
WAIT	接続中
LOSS	映像信号の中止(ビデオロス)
CLOSE	DVRからの切断
ALARM	アラーム録画
MOTION	モーション録画
PB	再生
LIVE	ライブ監視

4) フレームレート

ネットワーク転送速度。転送フィールド率は DVRの実際録画 フィールド率と異なります。

5) 分割画面表示



分割画面ボタン をクリックすると、希望の分割画面が表示されます。

6) カメラの表示位置の変更

それぞれのカメラ映像をドラッグ＆ドロップすることで、希望するカメラの表示位置を変更することができます。

7) 1画面表示

1画面表示には 2つの方法があります。

- 1) 分割画面表示の時に、希望するカメラ映像が表示されているウィンドウをダブルクリックする。(以前の分割表示のモードに戻すには、再度ダブルクリックしてください。)
- 2) 分割画面表示の時に、希望するカメラ映像が表示されているウィンドウをマウスで右クリックし、表示されたメニュー1で画面を表示します。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 リモート再生

リモート再生

再生モードに切り替えることで、DVRに内蔵されたHDDに録画された映像をCMSを通して再生することができます。



ネットワーク接続による遠隔監視方法

- (4) **リモート** タブをクリックし、DVRリストから再生したいDVRを選択します。

リモート検索は、DVRに記録された映像を、グラフで表示します。
データは録画されたときの録画モードによって色分けされています。

モーション（緑） > アラーム（赤） > ノーマル（黄）



- (5)希望する日時をカレンダーから選択します。

- (6)バーグラフをクリックして **再生** ボタンをクリックすると再生を開始します。



ネットワーク接続による遠隔監視方法 リモートダウンロード

リモートダウンロード

リモートダウンロードは、DVR内蔵のHDDに録画された映像を、CMSを通して直接パソコンにダウンロードする機能です。

※再生ボタンを押し、再生モードに切り替え、検索ボタンを押すと「リモート検索」メニューが表示されます。

(1) **リモート** をクリックし、DVRから再生したいDVRを選択します。

(2) リモート検索は、DVRに保存されている録画された映像を、グラフで表示します。



(3) 希望する日時をカレンダーから選択します。

(4) バックアップしたい部分を日時から選択します。

(5) **ダウンロード** ボタンをクリックするとダウンロードが始まります。

保存場所の初期設定は「C : ¥Program Files¥DvrPlayer¥Download」です。

保存フォルダ(ディレクトリ)は、「CMS設定(P74参照)」メニューで変更できます。



a. BEGIN – END : 選択されたファイルの開始と終了時間を表示。

b. CURRENT : 現在ダウンロードされたファイルの時間を表示。

c. Download Cancel : **取消** ボタンでダウンロード中止。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 ダウンロードデータの再生

ダウンロードデータの再生

「ローカル」メニューは主にDVRからCMSを通してパソコンにダウンロードされたデータを見るために使います。

- (1) **ローカル** ボタンを選択します。

ローカル検索では、保存されたファイルがグラフで表示されます。



- (2) カレンダーから日付・日時を選択した後、**再生** ボタンを押します。

削除

: 選択されたファイルを、PCから削除します。

名前をつけて保存

: 選択されたファイルを、PCの別のフォルダ、または他の
ドライブに保存します。

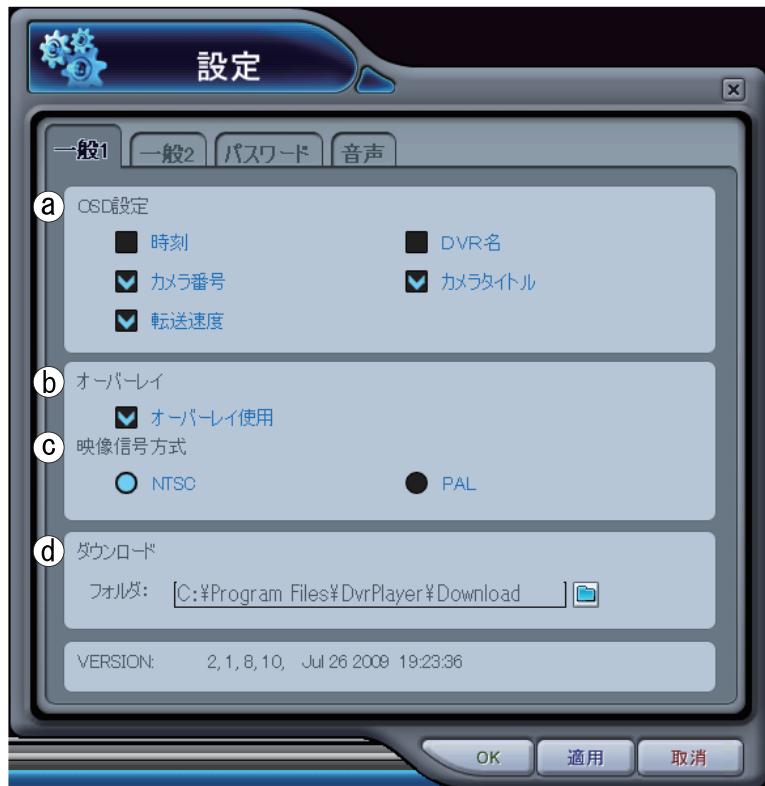
ファイルを開く

: DVRでバックアップされたUSBメモリーCDやDVDを開きます。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 CMS設定

CMS設定

① 一般 1



a) OSD 設定

時刻、DVR名、カメラ番号、カメラ名、各カメラのフレームレートのような、オンスクリーン表示情報の表示と非表示を選択します。

b) オーバーレイ (初期設定)

パソコン内の映像の転送効率をアップするためには、オーバーレイの使用を推薦します。不適切なビデオドライバがインストールされている等の理由で、映像が乱れる場合は、オーバーレイ機能のチェックを外してください。それでも画面の異常が改善しない場合は、ウィンドウのハードウェアアクセラレータ(*1参照)の設定を下げてください。

c) ビデオ・モード

NTSCあるいはPALですが、日本国内では通常NTSCを選択します。

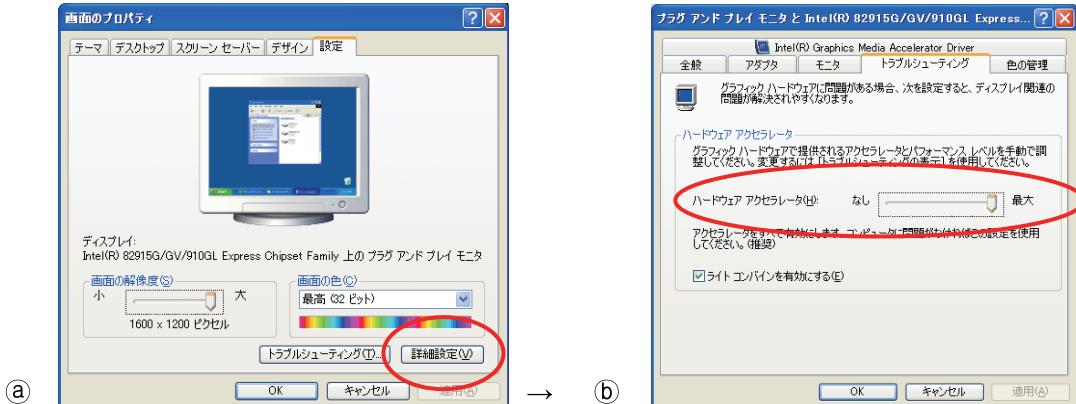
d) ダウンロード

ダウンロードファイルの保存先フォルダを指定します。

<ノート> ハードウェア・アクセラレータのコントロール

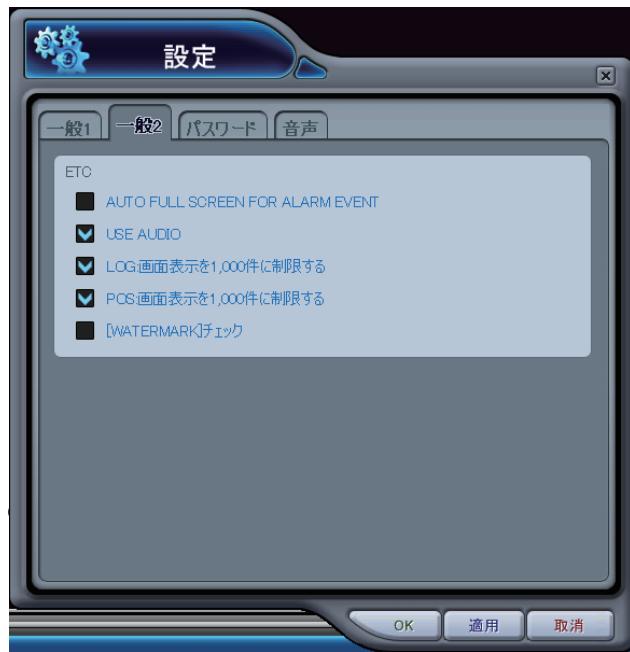
ⓐ PCの「コントロールパネル」→「画面」→「設定」のAdvanced(詳細設定)をクリックします。

ⓑ “Troubleshootトラブルシューティング” を選択し、ハードウェアアクセラレータを下げます。



ネットワーク接続による遠隔監視方法

② 一般2



- a) AUTO FULL SCREEN FOR ALARM EVENT
アラームイベント発生時に1画面表示にします。
- b). USE AUDIO
音声の設定をします。
- c). ログ表示を最大1,000件に制限する
ログ表示を最大1000件に制限します。
- d). POS画面表示を1,000件に制限する
POS項目検索を最大1000件に制限します。
- e). [watermark]チェック
※使用しません。

③ パスワード



- パスワード変更

- a) 現在のパスワード : 現在のパスワードを入力します。
- b) 新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。
- c) 再入力 : 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

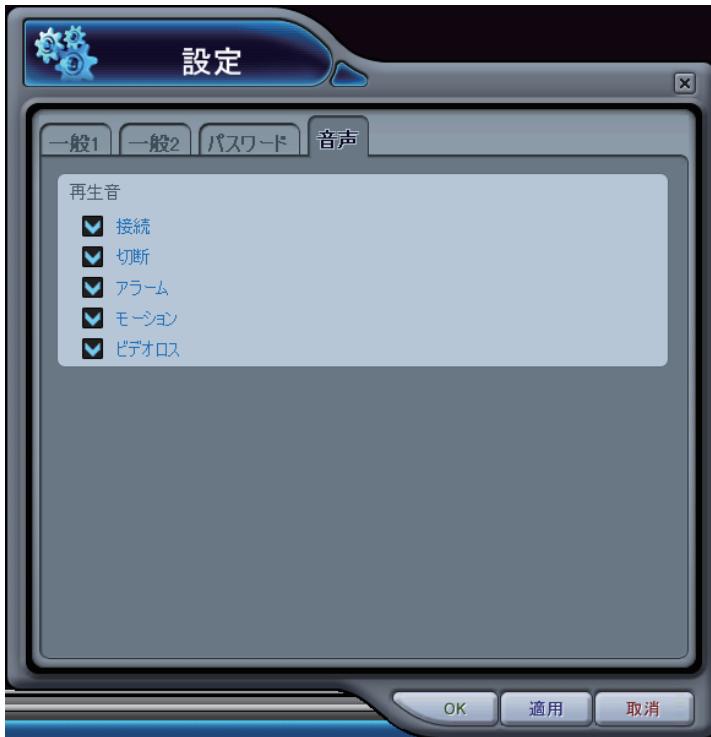
適用ボタンを押すとパスワードが変更されます。(OK ボタンでは変更されません。)

<注意> このパスワードは CMSの起動を制限するものです。DVRのパスワードではありません。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

④ 音声

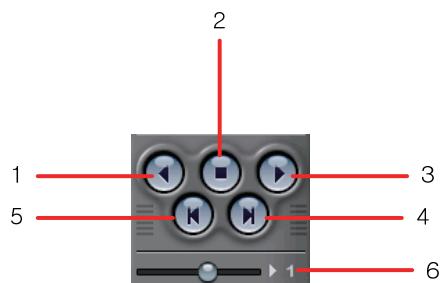
CMS用の音声警告設定です。イベントの種類毎の音声警告の ON・OFFを切り替えます。



- 接続 : DVRが接続されたとき警告音を出します。
- 切斷 : DVRが切斷されたとき音を出します。
- アラーム : DVRでアラームが発動されたとき音を出します。
- モーション : DVRがモーションを検知したとき音を出します。
- ビデオロス : 映像信号がないとき音を出します。

(5) 再生コントロールボタン

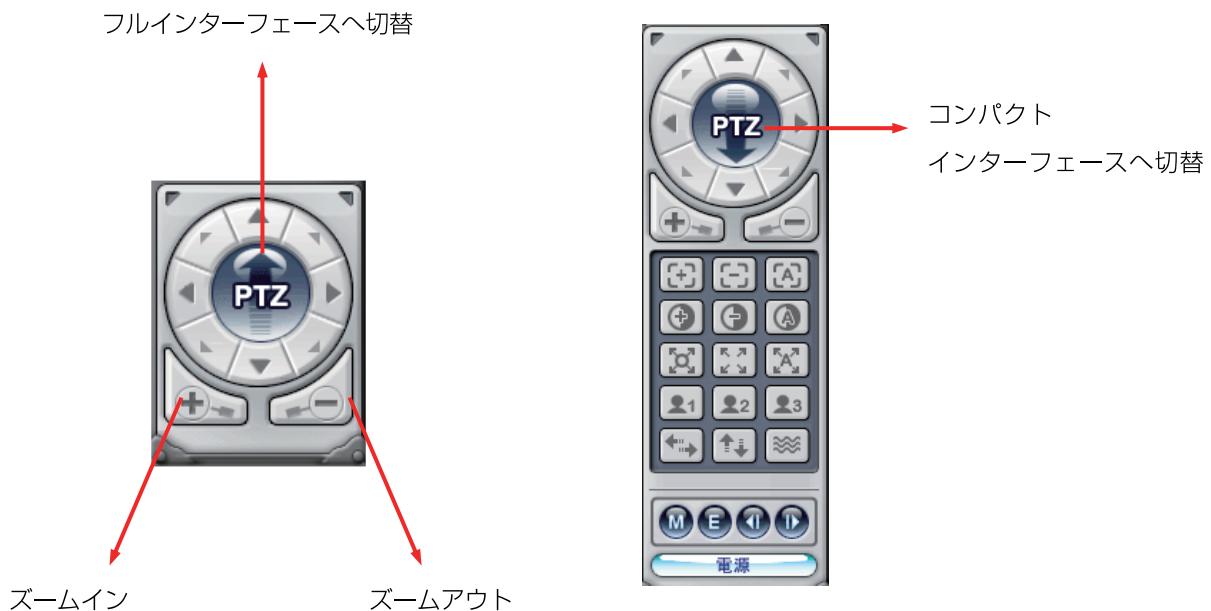
- これらのボタンは、ダウンロードされたファイルの再生時のみ機能します。



- 逆再生
- 停止ボタン
- 再生ボタン
- コマ送り
- コマ戻し
- 再生スピードコントロール

ネットワーク接続による遠隔監視方法

(6) パン/チルトコントロールボタン



複数のP/T/ZカメラがDVRに接続されている場合、それらを個々に選択して、PTZコントロールボックスを使って制御できます。特定チャンネルのP/T/Zカメラを制御するには、P/T/Zカメラが接続されたチャンネルをクリックします。

a. パンおよびチルト

表示	機能	表示	機能
	上方向		下方向
	左方向		右方向
	左上方向		右上方向
	左下方向		右下方向

b. フォーカス

表示	機能
	遠
	近
	自動

ネットワーク接続による遠隔監視方法

c. アイリス

表示	機能
	絞りを開く
	絞りを閉じる
	自動絞り

d. ツアー

表示	機能
	ツアーの設定をします。設定できるプリセットポイントは接続されたP/T/Zカメラによって変わります。
	プリセットを呼び出します。
	オートツアーを開始します。

e. 特殊機能キー



P/T/Zカメラの機能

f. オートパン

表示	機能
	オートパンの左側の限界をセットします。
	オートパンの右側の限界をセットします。
	オートパン機能を実行します。

g. オートチルト

表示	機能
	オートチルトの上側の限界をセットします。
	オートチルトの下側の限界をセットします。
	オートチルト機能を実行します。

h. パン / チルト電源



パン・チルトのスタンバイまたは、P/T/ZカメラのライトのON OFF

ネットワーク接続による遠隔監視方法

(7) 動作状態表示

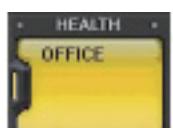
問題またはイベントの発生したDVRの新しい5台分のDVR名を表示します。色は、DVRからのレポートに応じて変化します。

a. 赤



赤は、DVRの重要な機能の中止や故障の場合：接続失敗、接続タイムアウト、停電、ファンロック、システム故障、DD故障、停電復旧、ファンロック復旧、システム故障復旧、HDD故障復旧

b. 黄



黄は録画またはアラーム関係のイベント発生：ビデオロス、ビデオロス復旧、アラーム検知、モーション検知、録画停止、予約 OFF、バックアップ動作停止

c. 青



青はDVRが正常に機能している場合です。
DVR名が表示される場合：録画開始、バックアップ動作開始、予約 ON

ネットワーク接続による遠隔監視方法

動作状態レポート

「動作状態レポート」メニューは、接続された全てのDVRの状態の概要をすぐにユーザーに提供します。最大300台のDVRに関する故障、イベント、録画モードなどのような、状態を確認することが出来ます。



動作状態レポートは、“動作状態”をダブルクリックすると、いつでもアクセスできます。

詳細なログリストは 動作状態レポートのNameや アイコンをダブルクリックすると表示されます。

欄の色	状態
赤継続	過去にイベントまたは問題が発生したことを示します。
赤点滅	現在発生中のイベント、または問題を意味します。
黄継続	DVRの現在の状態。

<注意>ネットワーク接続エラーまたは停電の場合、各DVRの「NO」と「NAME」の項目が赤点滅します。

- a. HDD FAIL: 動作中の HDD 故障を知らせます。
- b. FAN LOCK
 - a) SYS. FAN: DVR側面にあるファンの異常を示します。
 - b) CPU FAN: CPUにあるファンの異常を示します。
- c. EVENT
 - a) AL: アラーム
 - b) MO: モーション
 - c) VL: ビデオロス
- d. OVER TEMP. (本機では、ご利用になれません。)
 - a) SYS: DVR 温度チェック
 - b) CPU: CPU 温度チェック
- e. REC. OFF : DVR の REC LEDのON OFFを示します。
- f. SCHE. OFF: DVR の 予約録画のON/OFF状態を示します。
- g. BACKUP OFF: DVRのバックアップ状態を意味します。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 DVRの登録情報

DVRの登録情報

“DVR NOまたはDVR NAME”をダブルクリックすると、見ることができます。



このメニューは、下に記載されたような情報を提供します。

- DVR モデル：本機に関する情報を表示します。
- システム時刻：DVRの内蔵時計の日時を表示します。
- 録画：現在のノーマル録画チャンネルを表示します。
- アラーム：現在のアラーム録画チャンネルを表示します。
- モーション：現在のモーション録画チャンネルを表示します。
- 映像入力なし：現在映像信号が中断中(ビデオロス)のチャンネルの表示。
- HDDサイズ：利用可能なHDD残容量 / HDD全容量
- バックアップファイルサイズ：利用可能なUSB HDD残容量 / USB HDD全容量
- 録画可能時間：推定残り録画時間
- HDD：ハードディスクの異常を示します。
- システム・ファン：ファンの異常を示します。（本気化では未対応）

ネットワーク接続による遠隔監視方法

CMSログリスト



このメニューは CMSが動作中の間の CMSログを提供します。さらに、それぞれの DVRの特定の情報は DVRログリストを参照してください。

ダブルクリックすることによって、選択された時間が再生されます。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

3.1. DVRの状態

DVRの状態は、接続されたそれぞれの DVRの状態を、画面下にユーザーがすぐにチェックできるよう表示します。それぞれのアイコンの意味を以下に示します。

(1)ノーマル (青色)



正常動作していることを意味します。

このアイコンをダブルクリックすると、現在のライブ映像が表示されます。

(2)ネットワーク接続中 (オレンジ色)



CMSがネットワークを通してDVRに接続試行中であることを意味します。

このアイコンをクリックすると「接続準備中です、お待ちください」と表示されます。

(3)ネットワークエラー／切断 (ピンク色)



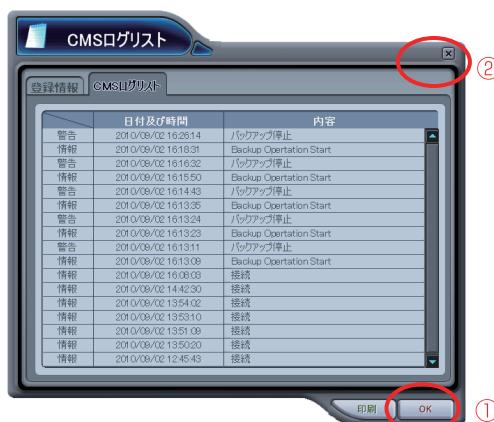
ネットワークエラーまたはパスワードの誤りで、
DVRに接続できないことを意味します。ネットワーク接続エラーが発生
した場合、CMSは30秒間隔でDVRへの接続を試みます。このアイコンを
クリックすると、「ネットワークエラー」か「パスワード誤り」かを
判断できます。パスワードが間違っている場合は、パスワードを変更し
てください。

(4)システム異常 (オレンジ色)



イベントまたはシステムの問題を意味します。

このアイコンをダブルクリックすると、CMSログリストがポップアップされます。



① “OK”を選択してメニューを終了すると色の状態は青



に戻ります。

② “x (Close)”を選択すると、以前の状態を維持した
まま、メニューを終了します。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

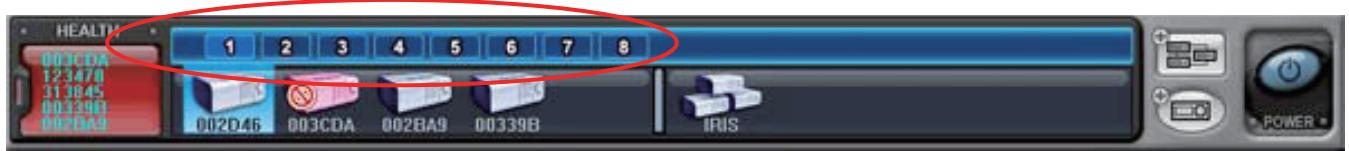
3.2. カメラの表示

カメラの状態はステータスバーに個別のカメラの状態を表示します。カメラはチャンネルに従って表示されます。

(1) 希望する DVRをクリックします。



(2) カメラの情報が表示されます。



(3) それぞれのアイコンの意味を以下に示します。

- 1) (青) : 映像は入力されていますが録画されていません。
- 2) (暗い青) : 映像信号の入力がありません。 (ビデオロス)
- 3) (赤) : 入力された映像を録画中

ネットワーク接続による遠隔監視方法

3.3. 同時再生＆ライブ監視

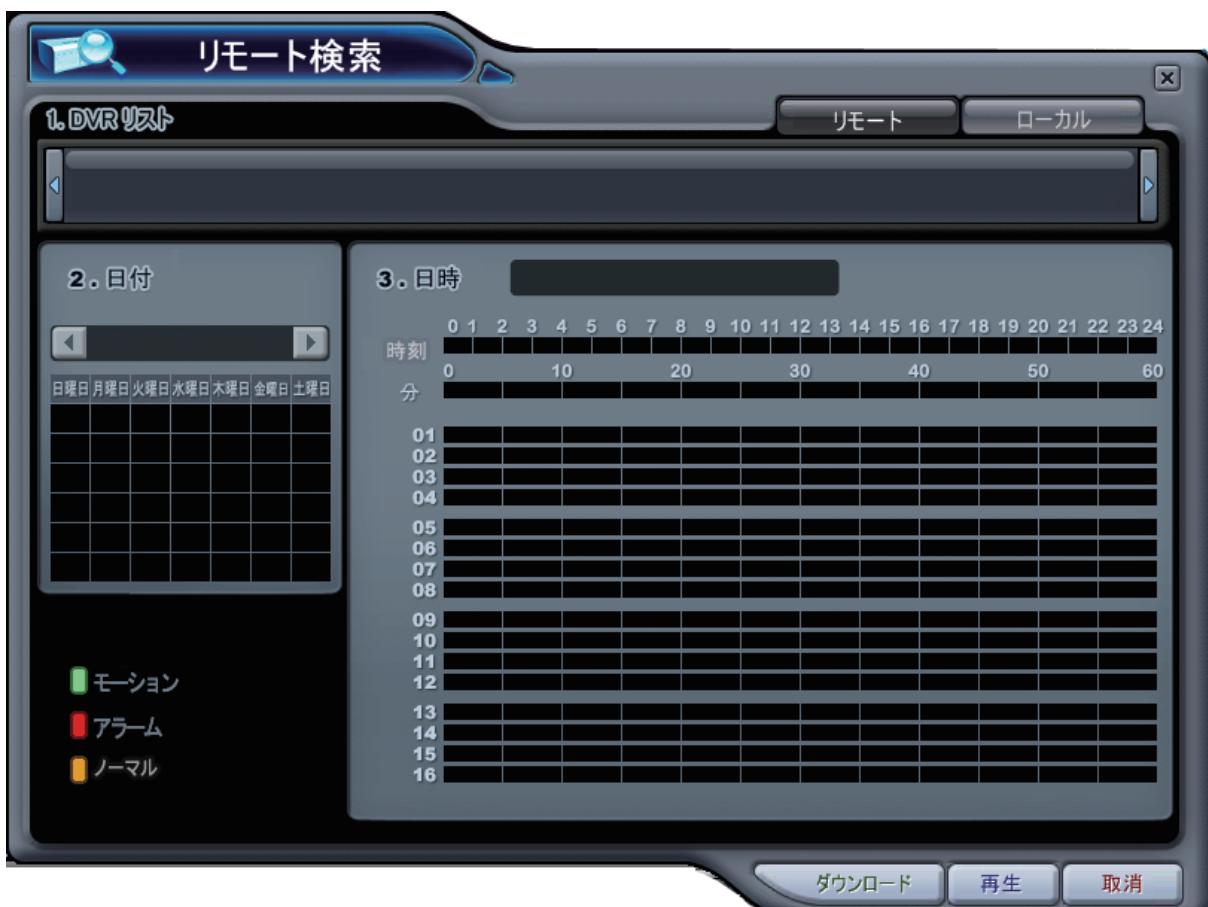
ファイブ監視モードでも個々のチャンネルで遠隔監視ができます。

デュアル表示は個々のDVRと仮想DVR、両方可能です。

- 1) ライブ監視の際、再生するカメラを選択します。右クリックでコンテキストメニューが表示されます。



- 2) 検索をクリックすると、遠隔検索メニューが表示されます。



ネットワーク接続による遠隔監視方法

- 3) 希望するDVRと日時を選択します。“再生”ボタンを押し、再生します。
(参照→ “Playback再生”セクション)



<注意> 選択した時間帯にデータがない場合は、該当カメラが録画されているか確認して下さい。

- 4) ライブ監視中に再生を開始します。



- 5) 右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。
6) ライブを選択すると再生が終了し、ライブ映像が表示されます。

ネットワーク接続による遠隔監視方法

3.4. コンテキストメニュー

コンテキスト・メニューは、チャンネル、DVRおよび仮想DVRのサブメニューへのアクセスを可能にします。サブメニューは、それぞれ個別のサブメニュータイプの様々な機能へアクセスを可能にします。

(1) ライブ監視中のコンテキストメニューは2種類です。(右クリック)



1) 検索：遠隔検索で再生

2) 1画面表示

ネットワーク接続による遠隔監視方法

(2) ライブ監視中の再生のコンテキストメニューは3種類です。(右クリック)



- 1) 検索: 遠隔検索で再生
- 2) ライブ: 再生を停止し、ライブ監視に戻ります。
- 3) 1画面表示

(3) 各DVRには7種類のコンテキストメニューがあります。



- 1) ライブ: 選択した DVRのライブ表示
- 2) 登録情報: DVR情報
- 3) CMS ログリスト
- 4) DVR ログリスト
- 5) 設定: 参照 → “DVRメニュー設定” (非対応)
- 6) 削除: DVR ウィンドウから削除

ネットワーク接続による遠隔監視方法 仮想DVR

仮想DVRは実際のDVRではありませんが、既にDVRウィンドウにリストされた複数のDVRを組み合わせてグループ化することで1つの画面に表示する機能です。1つの仮想DVRをセットすることで最大64のDVRを追加できます。それぞれのDVRからひとつのカメラを選んで表示できます。仮想DVRは、警告通知以外、通常のDVRと同じように作動します。

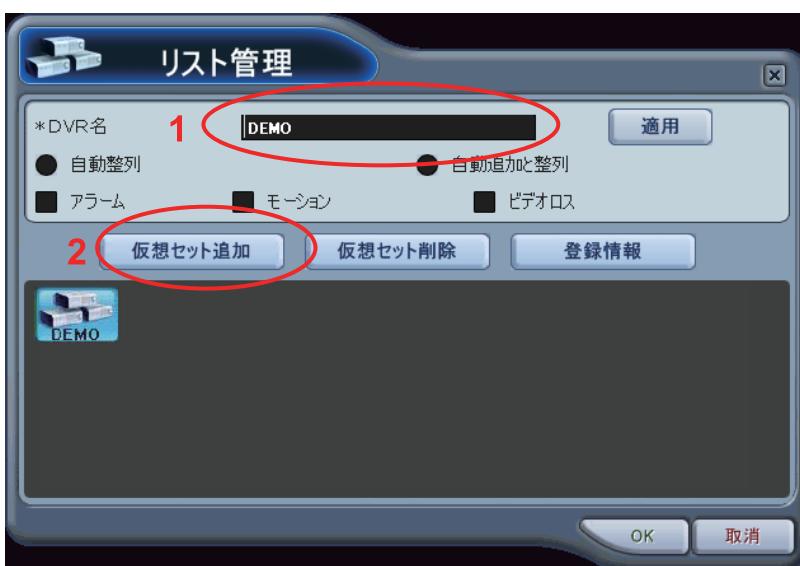
A 仮想セット・リスト管理

仮想セット・リスト管理は、CMSへの仮想DVRセットの追加と削除に使用されます。



ボタンをクリックし、セットリスト管理を開始します。

セットリスト管理メニューは下図のようにポップアップされます。



ネットワーク接続による遠隔監視方法

B CMS リストの追加

次のステップで仮想DVRを作ってください。

- 1) DVR名: CMSウィンドウに表示させる仮想DVRタイトルを入力します。

* 自動整列:

- このオプションをチェックすると、CMSは仮想DVRに登録されたカメラからの任意に起きたイベントでカメラの表示位置を揃えます。イベントの起きたカメラは自動的にチャンネル1に移動します、そのため優先度の順に整列されます。

* 自動追加と整列:

- このオプションをチェックすると、イベントによるカメラ映像の整列に加え、それまで表示に含まれていなかったカメラも自動的に優先表示します。

* アラーム/モーション/ビデオロス:

- それらのオプションをチェックするとカメラは、アラーム、モーションまたはビデオロスによる自動整列と自動挿入が行われます。

- 2) 仮想DVRの追加: 「仮想セット追加」ボタンをクリックすると仮想セットを追加します。個別のセットと同じ名称を重複させないでください。

- 3) 変更を保存しメニューを終了する : 「OK」を選択します。

- 4) 変更せずにメニューを終了する : 「取消」をクリックします。

● 適用 : これは選択された仮想DVRの名称を変更するために使用します。

- (2) 仮想DVR削除: CMSリストから選択された仮想DVRを削除します。

- (3) 登録情報: このメニューは仮想セット名のような情報を提供します。接続されたDVR数の合計、接続されたDVRの選択されたカメラ数とIP情報の合計。



ネットワーク接続による遠隔監視方法

C 仮想 DVR の編集

(1) 希望する仮想DVRをダブルクリックします。



(2) 選択された仮想DVRが有効になり「▷」と表示されます。



(3) 表示のためにマルチスクリーンのいずれかを選択します。

(4) カメラの追加方法は2種類あります。

1) 希望するDVRの全てのカメラ

希望するDVRをドラッグし直接希望するチャンネルの位置にドロップします。

カメラは選択されたチャンネルから番号順に追加されます。

下の例では、8ch DVRをチャンネル番号5にドラッグしています。

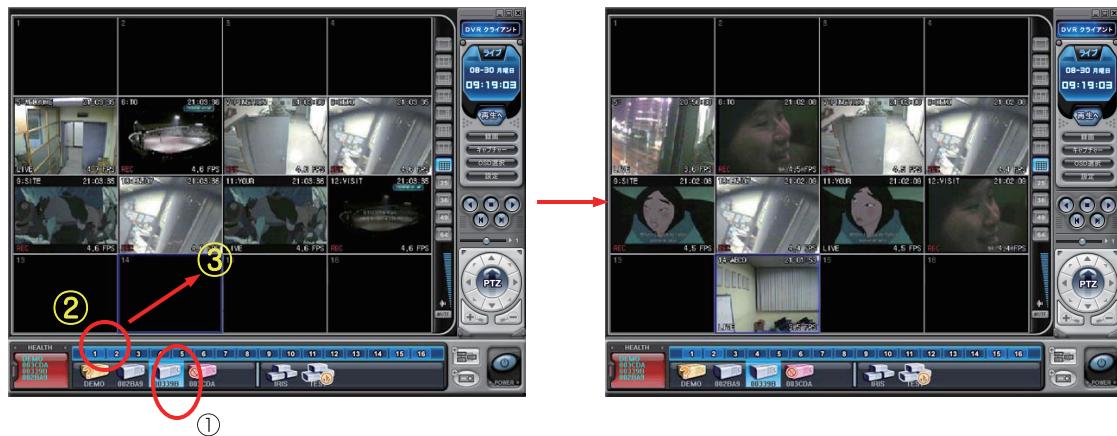


ネットワーク接続による遠隔監視方法

2) 希望するDVRの任意のカメラ

- ① 仮想DVRが有効になっている間、DVRウィンドウの任意のDVRをクリック
- ② カメラアイコンが表示された後、追加を希望するカメラ番号をドラッグし、希望チャネルに直接ドロップします

下の例では3番目の DVRの1番目のカメラを14チャンネルにドラッグしています。



< 注意 > 同じチャンネルで重複する場合、既存のカメラに新しいカメラが置き換えられます。

(5) カメラ削除

CMSからカメラを削除するには2つの方法があります。

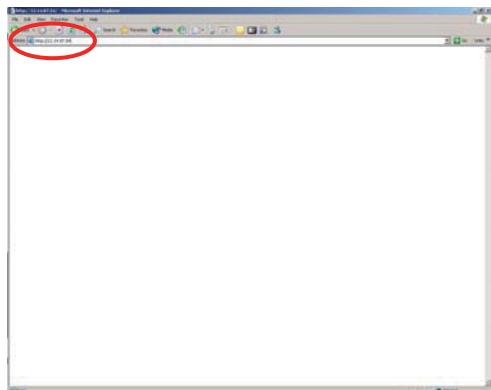
- 1) ライブ監視中に削除するカメラを選択します。画面を右クリックするとコンテキストメニューが現れます。“削除”を選択。
- 2) 削除する任意のカメラを選択し、DVRウィンドウまたは仮想DVRウィンドウに直接ドラッグします。



ネットワーク接続による遠隔監視方法 WEB CMS

Internet Explorer上でDVRのライブ映像を見ることができます。ユーザーがPCに専用のCMSソフトウェアをインストールする必要がないので大変便利です。ダウンロード以外はCMSと同様の機能を使うことができます。ライブイメージと再生画面を見ることができます。

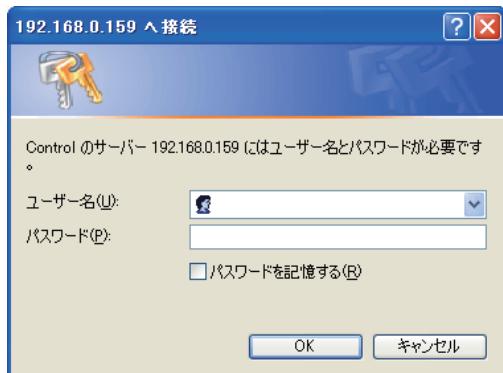
1. INTERNET EXPLORERでDVRに接続



本機のIPアドレスをInternet Explorerのアドレスバーに入力します。

例えば、「`http://192.168.0.250:7000`」とタイプ。

上の例はポート7000を利用している場合の例です。



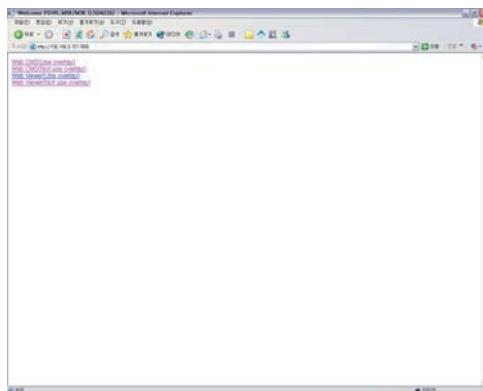
管理者やユーザーでサインインします。

次にパスワードを入力します。

【ユーザー名・パスワード / 初期値】

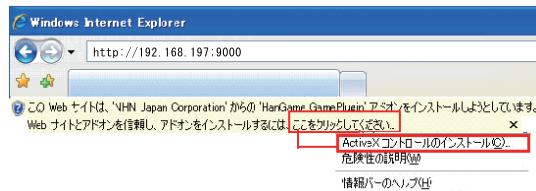
■ユーザー名 : admin

■パスワード : 000000

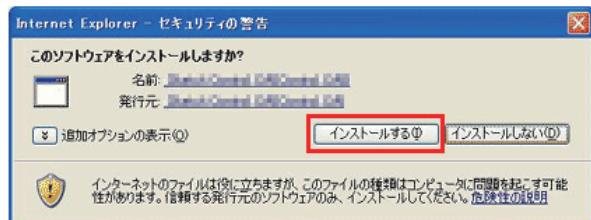


Web CMS(Use overlay)をクリックしてDVRに接続します。
CMS overlayに関しては63ページを参照してください。

ネットワーク接続による遠隔監視方法



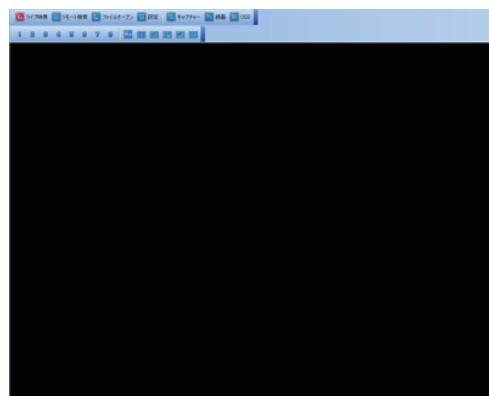
ウィンドウにActiveXをインストールするための
バーが出ますので、クリックしてダウンロード
してください。



インストールします。



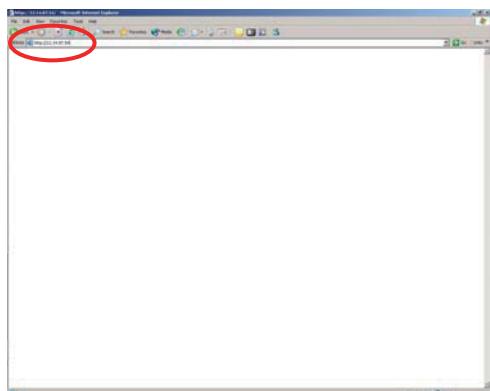
イメージローディングが終わるまで待ってください。



イメージローディングが完了するとDVRのイメージ
とWEB CMSバージョンが現れます。

ネットワーク接続による遠隔監視方法 WEB監視

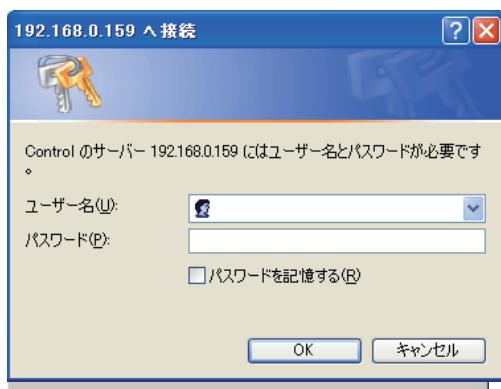
WEB監視



本機のIPアドレスをInternet Explorerのアドレスバーに入力します。

例えば、「<http://192.168.0.250:7000>」と入力します。

上の例はポート7000を利用している場合の例です。



管理者やユーザーでサインインします。
次にパスワードを入力します。



Web serverをクリックしてDVRに接続します。
(監視のみ可能です。)

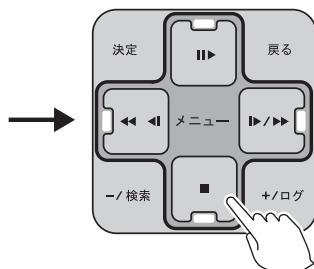
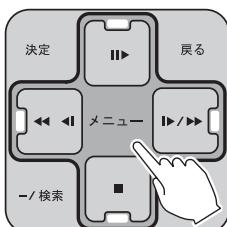
PTZ(パンチルトズーム)カメラの設定・コントロール

PTZカメラの操作をDVRで行うことが可能です。

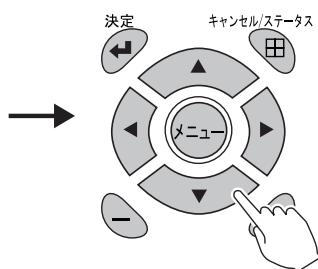
1 PTZカメラを登録する

本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してメニュー画面を開き、「上下左右カーソル」ボタンで[カメラ]を選びます。

<本体>



<リモコン>



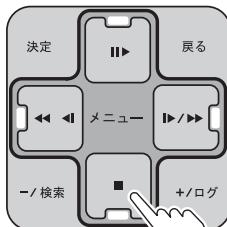
本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して「カメラ」メニューを開きます。



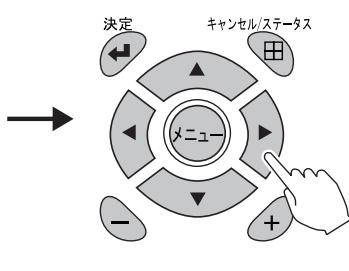
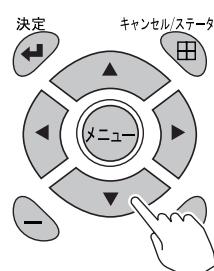
2 カメラID・プロトコルを設定する

本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンで設定する[カメラ]を選択し、本体またはリモコンの「左右カーソル」ボタンを押してモーションの列までカーソルを移動します。

<本体>



<リモコン>



本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを押して値を[OFF]から[ON]に変更します。

PTZ ID/MODEL

- 01 + - 指定なし +

PTZ ID/MODEL

- 06 + - PELCO D PROTOCOL +

3 設定を確定する

本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して設定の変更を確定します。
メインメニューに戻るので、本体またはリモコンの「キャンセル」ボタンを押して通常監視画面に戻ります。

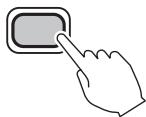
PTZ(パンチルトズーム)カメラの設定・コントロール

PTZカメラの操作方法

リモコンの「カメラ制御」ボタンを押して PTZ カメラ操作専用リモコンを表示します。

< リモコン >

カメラ制御



通常操作に使用するのアイコン説明

© R 2010/10/10 日 17:26:25 ☽ 3日間

ボタン	機能
	PTZ 操作リモコンのガイドメニューが表示されます。 もう一度押すと表示が消えます。
	PTZ カメラの操作を終了し、通常監視画面に戻ります。
	PTZ カメラの全ての操作が可能なメニューに切り替えます。もう一度押すと簡易メニューに切り替わります。
	PTZ カメラの上下移動（チルト）、左右移動（パン）を行います。
	PTZ カメラのズーム、ズームアウトを行います。

PTZ(パンチルトズーム)カメラの設定・コントロール

高度な操作に使用するアイコン説明

※PTZ カメラ自体の機能については、カメラ自体の取扱説明書をご確認下さい。

ボタン	機能
	プリセット位置を設定します。 プリセットする場所に PTZ カメラを合わせた状態で「プリセット設定」ボタンを押します。 3 行の番号入力が表示されるので、希望する番号を入力します。 最後に「決定」ボタンを押してプリセットの設定を終了します。
	プリセット位置に PTZ カメラを移動します。 「プリセット選択」ボタンを押すと 3 行の番号入力が表示されるので、希望する番号を入力します。 最後に「決定」ボタンを押すと選択したプリセット位置にカメラの向きが変わります。
	プリセットをツアー表示します。 「オートツアー」ボタンを押すと 3 行の番号入力が表示されるので、ツアー表示する番号を入力します。 最後に「決定」ボタンを押すと 1 から選択した番号のプリセットまでをツアーで表示します。

■PTZ カメラ対応表

#	P/T/Z モデル	3X	速度	機能設定	方向指示	ツアー	A. Pan	A.Tilt	Pat	Me	Esc/ Enter
1	NUVICO, NV 9600 BPS	o	o	o	o	o			o	o	o
2	MERIT LILIN, PIH-7000/7600	o	o	o	o	o	o			o	o
3	VCL, Orbiter Microsphere		o	o	o	o					
4	SAMSUNG, SCC-641		o	o	o	o	o			o	o
5	NEC, NC-21D		o	o	o	o					
6	SUNKWANG, SK2107		o	o	o	o	o				
7	RESERVED		o	o	o	o	o				
8	D-MAX, PTZ PROTOCOL		o	o	o	o	o	o			
9	LG, LPT-A100L P/T/Z						o				
10	HONEYWELL, GCC-655N										
11	WONWOO, PT-101						o				
12~14	PELCO, D 2400~9600	o	o	o	o	o	o		o	o	
15	C&B TECH, AN200			o	o	o					
16	CANON, VC-C4			o	o	o					
17~19	PELCO, P 2400~9600	o	o	o	o	o	o		o	o	
20~22	PELCO, EP 2400~9600		o	o	o	o					

PTZ(パンチルトズーム)カメラの設定・コントロール

■PTZ カメラ対応表

#	P/T/Z モデル	3X	速度	機能設定	方向指示	ツア-	A. Pan	A.Tilt	Pat	Me	Esc/ Enter
23	PANASONIC, WV-CS/W85x,86x		○	○	○	○				○	○
24	HONEYWELL, HSDN- 251N/P		○	○	○	○					
25	GE/KALATEL, CyberDome		○	○	○	○	○				
26	DY ELEC, SmartDome		○	○	○	○	○				
27	BOSCH, TC8560/TC700		○	○	○	○					
28	SYSMANIA, ORX1000										
29	AD, DELTADOME		○	○	○	○				○	
30	HUNT, HTZ-2300		○	○	○	○	○	○	○		
31	HAZEM, RESERVED			○	○	○	○				
32	RVT, EZ Protocol	○	○	○	○	○				○	○
33	LG, MULTIX		○	○	○	○				○	
34	ELMO, PTC-200C/400C		○	○	○	○					
35	NICECAM, MP-1xxx		○	○	○	○					
36	C&B TECH, CNB- PTZ102			○	○	○	○	○	○		
37	IKEGAMI, PCS I-LAN	○	○	○	○	○	○			○	○
38	IKEGAMI, ICD I-LAN	○								○	○
39	Reserved										
40	TOA, SC80 SYSTEM CONTROLLER	○	○	○	○	○	○			○	
41	TOSHIBA, SC1000	○	○	○	○	○	○			○	○
42	BBV, TC 9600 BPS	○	○	○	○	○	○			○	

PTZ カメラの動作速度調整



リモコンの「◀」「▶」ボタンを押してスピードを調整します。
グラフが長いほど高速になります。

メニュー設定の構成とはたらき

ここからはメニュー設定の構成と働きについてご説明していきます。



① 画面設定 (P69)

画面表示について設定を行います。

② カメラ設定 (P71)

カメラの設定を行います。

③ 録画設定 (P73)

録画の設定を行います。

④ イベント設定 (P74)

モーション・アラーム時の録画の設定を行います。

⑤ デバイス設定 (P75)

操作音・オーディオ・アラームの設定を行います。

⑥ 予約録画設定 (P77)

予約録画の設定を行います。

⑦ ネットワーク設定 (P78)

ネットワークの設定を行います。

⑧ システム設定 (P82)

日時設定・ユーザー管理などの設定を行います。

画面設定

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「画面設定」を開きます。



①ステータスバー

画面下部にあるアイコン表示・日付表示・HDD情報の表示/非表示が可能です。

②カメラ

各カメラ画面にある【カメラ番号】と【カメラ名称】の表示/非表示が可能です。
初期設定ではカメラ名称が登録されていない為、番号のみの表示となります。
※カメラ名称の登録はP★★★

③画面分割線

分割している線の色を変更することが出来ます。
色は【黒・ダークグレイ・グレイ・白】の4色。

④背景色

背景の色を変更することができます。
色は【黒・ダークグレイ・グレイ・白・青】の5色。

⑤画面分割設定

画面分割表示のパターンを設定します。
画面分割表示の方法はP14

⑥クイック設定

簡易設定だけを表示するクイック設定のON/OFFを設定します。

画面設定 画面自動切替設定

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「画面」を開きます。



項目	初期値	調整
画面切替時間	2秒	自動でカメラ映像を切り替える間隔の秒数を設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。 ※1秒～30秒の間で設定可能
切替モード	なし	切り替える分割画面の種類を設定します。
画面表示	全て	自動切替時に表示するカメラのチャンネルを選択します。 チェックをはずしたカメラは表示されません。

※切替モードにチェックが入っていない場合、自動切替は動作しませんのでご注意ください。

画面自動切替方法

本体の[分割選択]ボタンまたはリモコンの[画面分割]ボタンを1秒間長押しで開始します。
もう一度本体の[分割選択ボタン]またはリモコンの[画面分割]ボタンを押すと自動切替が終了します。

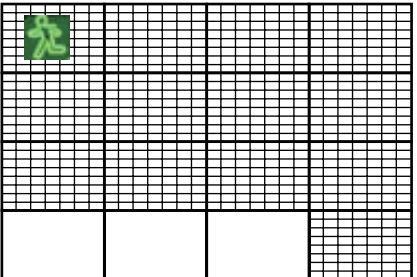
カメラ設定 エリア設定 / 非表示 / カメラ名称

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「カメラ」を開きます。



項目	初期値	調整
輝度	50%	カメラの輝度を調整します。 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。
コントラスト	50%	カメラの色のコントラストを調整します。 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。
カラー	50%	カメラの色の濃さを調整します。 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。
感度	10	数字が大きくなるほど感度が高くなります。(低感度 1~20 高感度) 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。
エリア設定		<p>検知する範囲の設定を行います。 格子がついているエリアが検知範囲です。</p> <p> : 全て選択 : 全て解除 : 部分選択</p> <p> 検知するエリア 検知しないエリア</p> <p>上記アイコン を選択した状態で本体またはリモコンの [決定] ボタンを押すと範囲設定が変更します。 部分選択は次のページへ説明が続きます。</p>

カメラ設定 エリア設定 / 非表示 / カメラ名称 / PTZ ID/MODEL

項目	初期値	調整
エリア設定		<p>アイコンを選択した状態で[+]ボタンを押すとアイコンが表示され、検知するエリアを16分割から設定することができるようになります。</p>  <p> 検知するエリア  検知しないエリア</p> <p>上記アイコンを本体またはリモコンの「上下左右」ボタンで16のエリアを動かし検知するエリア、しないエリアを本体またはリモコンの[+]ボタンを押して変更します。 エリア設定を終了するには本体またはリモコンの「ー」ボタンを押します。</p>
非表示	NO	カメラの表示・非表示を設定します。(非表示中も録画します) 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。
カメラ名称		カメラにアルファベットと数字で名称をつけることができます。 ※数字ボタンと文字の関係は下表を参照してください。
PTZ ID /MODEL		PTZ IDにはカメラID(カメラアドレス)を入力します。 MODELにはPTZカメラの機種を選択します。 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。

設定の保存をお忘れなく

それぞれの設定を完了したあとに、必ず本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。
押さずに自動終了した場合は設定が反映されませんのでご注意下さい。

録画設定

録画時のコマ数、画質、録画種類の設定が行えます。

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「録画」を開きます。



録画				
コマ数/1秒間	画質	モーション	ALARM	
1 15 F/S	HIGH	ON	OFF	
2 15 F/S	HIGH	OFF	OFF	
3 7 F/S	HIGH	OFF	OFF	
4 7 F/S	HIGH	OFF	OFF	
5 7 F/S	HIGH	OFF	OFF	
6 7 F/S	HIGH	OFF	OFF	
7 7 F/S	HIGH	OFF	OFF	
8 7 F/S	BEST	OFF	OFF	

項目

調整

コマ数/1秒間	1秒間のコマ数を設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。
画質	録画画質を設定します。 高画質 BEST → SUPER → HIGH → MIDDLE → LOW 低画質 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。
モーション	モーション録画のON/OFFを設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。 ※ONにした場合、動きがあった時のみ録画します。
アラーム	アラーム録画のON/OFFを設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。 ※ONにした場合、アラーム信号発生時のみ録画します。

メモ 行の各項目で「分割選択」ボタンを押すと、残り全てのチャンネルにその行の設定が適応されます。

設定の保存をお忘れなく

それぞれの設定を完了したあとに、必ず本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。
押さずに自動終了した場合は設定が反映されませんのでご注意下さい。

録画は録画ボタンを押して開始します

上記の設定を完了しただけでは録画は開始しません。
本体またはリモコンの「キャンセル」ボタンを押して通常監視画面にした状態で
本体またはリモコンの「録画」ボタンを押して録画を開始します。

イベント設定

モーション録画、センサー録画時の1秒間のコマ数、画質の設定が行えます。
本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「録画」を開きます。



項目	調整
コマ数/1秒間	1秒間のコマ数を設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。
画質	録画画質を設定します。 高画質 BEST → SUPER → HIGH → MIDDLE → LOW 低画質 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。

メモ 行の各項目で「分割選択」ボタンを押すと、残り全てのチャンネルにその行の設定が適応されます。

設定の保存をお忘れなく

それぞれの設定を完了したあとに、必ず本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。
押さずに自動終了した場合は設定が反映されませんのでご注意下さい。

デバイス設定 設定

録音やキー操作音、アラーム信号の設定が行えます。

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「デバイス」を開きます。



項目	調整
POST RECORD TIME	動きを検知してから何秒間録画するかを設定します。[10~300秒] 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。 ※録画中は設定できません。
コントローラ	コントローラを使用する場合、設定します。 ※通常は使用しません。
キー操作音	キー操作音のON/OFFを設定します。 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。 ※操作音を止める場合は[OFF]に設定します。
タッチキー 感度	本体前面パネルのタッチキーの感度を設定します。 値の変更には[ー][+]ボタンを使用します。 ※数値が大きいと感度が高くなります。 低感度[1~5]高感度

設定の保存をお忘れなく

それぞれの設定を完了したあとに、必ず本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。
押さずに自動終了した場合は設定が反映されませんのでご注意下さい。

デバイス設定 アラーム

録音やキー操作音、アラーム信号の設定が行えます。
本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「デバイス」を開きます。



項目	調整
アラーム運動 録画カメラ	アラームが発動した際に全てのカメラで録画を行うか、アラームが発動したカメラのみ録画を行うか設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。 ※録画中は設定できません。
アラームブザー	アラームが発動した際にブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。 ※ONにすると音がなります。
アラーム出力 1～2	アラーム信号を出力する条件を設定します。 ビデオロス、モーション、アラーム全て、各アラーム、システムから選択します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。
入力	アラーム入力機器の[N.O /N.C]を設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。

メモ ブザー音が鳴った際に本体またはリモコンの「一」ボタンを押すとすぐにブザー音が止まります。
※アラームによる録画は停止しません。

設定の保存をお忘れなく

それぞれの設定を完了したあとに、必ず本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。押さずに自動終了した場合は設定が反映されませんのでご注意下さい。

予約録画設定

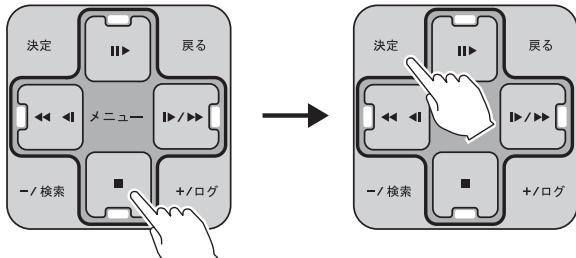
曜日ごとに録画する時間帯の設定が行えます。

本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「予約録画」を開きます。

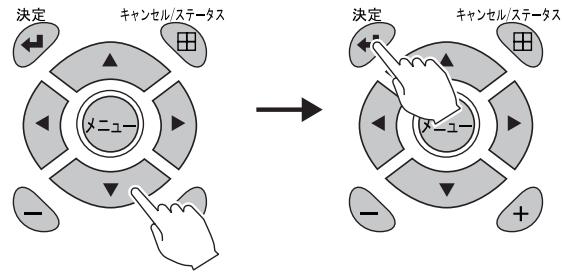


本体またはリモコンの「上下カーソル」ボタンで設定する [曜日] を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して録画する時間帯を登録する画面を表示します。(右図)

< 本体 >



< リモコン >



録画する時間を設定する

本体またはリモコンの「左右カーソル」ボタンを押して変更する数字の入力箇所を選択し、本体またはリモコンの「+」「-」ボタンを押して値を変更します。

※値の変更は、「数字」ボタンでも可能です。

開始：録画を開始する時間

終了：録画を終了する時間

モード：録画するモードを選択します

モードの項目については P73 を参照



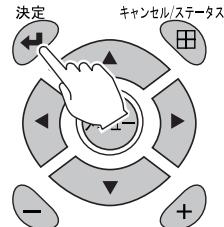
設定を確定します

[日付] と [時刻] の入力が終わったら、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押します。
以上で設定完了です。

< 本体 >



< リモコン >



ネットワーク設定 IPアドレス設定

遠隔地からPCで映像を見るなど、ネットワーク関連設定を行います。

本体、またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「ネットワーク」を開きます。



項目	調整
IPアドレス	固定、DHCP(IP自動取得)から選択します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。
IPアドレス	機器のプライベートIPアドレスを入力します。※固定選択時のみ
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。※固定選択時のみ
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ（通常はルーターのローカルIPアドレス）を入力します。※固定選択時のみ
DNSサーバー	DNSサーバーのIPアドレス（通常はデフォルトゲートウェイと同じ）を入力します。※固定選択時のみ
ポート設定	通常は初期値の[80]番をご使用ください。 使用できない場合は、[0000～9999]で選択できます。
自動ポート	追加ボタンを押すと自動でポートを設定します。
STATUS	自動ポートの成功・失敗の結果が表示されます。

ネットワーク設定 Eメール

Eメール通知機能は、動作検知、ビデオロスなどのイベントを、メール通知する機能です。

ネットワーク設定メニュー内で右カーソルボタンを1度押すと、Eメール設定メニューが表示されます。ここでは、Eメール通報機能を設定します。



項目	調整
使用	OFF、DEFAULT、SMTPから選択します。 この機能を利用する場合、通常はDEFAULTを選択して下さい。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。
サーバー名	SMTPサーバー名を入力します。※SMTP選択時のみ
ポート番号	利用するポート番号を入力します。※SMTP選択時のみ
ユーザー認証	サーバーでのユーザー認証有無を選択します。※SMTP選択時のみ
ユーザー名	SMTPサーバーのユーザー名を入力します。※SMTP選択時のみ
ユーザーパスワード	SMTPサーバーのパスワードを入力します。※SMTP選択時のみ
Eメールアドレス	送信先のメールアドレスを設定します。 最大5つのアドレスを設定できます。

ネットワーク設定 DDNS

DDNS設定を行うことで、グローバルIPアドレスを固定していない環境下でも、アドレスを擬似的に固定することができます。

ネットワーク設定メニュー内で右カーソルボタンを2度押すと、DDNS設定メニューが表示されます。ここでは、DDNSの設定を行います。



項目	調整
使用	<p>OFF、DEFAULT、DYNDNS (*1) から選択します。 この機能を利用する場合、通常はDEFAULTを選択して下さい。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。</p> <p>DEFAULT設定時、DVRのDDNSアドレスは、以下の通り設定されます。 <code>http://*****.dvrhost.com:80</code> ※「*****」の部分はDVRのホスト名（P.88 情報を参照）の通り設定されます。 また、末尾の「80」の部分は指定したP.79 ネットワーク設定で指定したポート番号の通り設定されます。</p>
DOMAIN NAME	ドメイン名を入力します。※DYNDNS選択時のみ
ユーザーID	ユーザーIDを入力します。※DYNDNS選択時のみ
パスワード	パスワードを入力します。※DYNDNS選択時のみ
DDNS TEST	アドレスのテストを行います。※DYNDNS選択時のみ

* 1 : DYNDNSをご利用頂く場合、DYNDNSのアカウント登録（海外サイト）が必要です。

ネットワーク設定 MISC.

MISC.メニューで、使用する帯域幅の設定を行います。

これによって、ネットワークにかかる負荷を減らし、円滑なデータ通信をサポートします。

ネットワーク設定メニュー内で右カーソルボタンを3度押すと、MISC.設定メニューが表示されます。



項目	調整
使用帯域幅	64Kbps、128Kbps、256Kbps、512Kbps、1Mbps、2Mbps、4Mbps、8Mbps、無制限から選択してください。数値が大きくなると、通信速度は上がり、ネットワークの負荷は大きくなります。

※通常は「無制限」でお使いいただき、他のネットワーク機器の通信に問題が出るようなことがあれば、使用帯域幅を補正してご利用下さい。

システム設定 設定

キーロック、日時、ユーザー権限、ハードディスクの設定、及び、システムアップデート、情報確認を行います。本体またはリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニューを開き、「システム」を開きます。



項目	調整
リモコンID	<p>同一の録画機を複数ご利用いただく場合のリモコン制御の為、00～99の範囲でリモコンIDを設定します。 値の変更には[−][+]ボタンを使用します。</p> <p>ここで設定した録画機のリモコンIDにリモコンを設定するには、以下の手順で操作を行います。</p> <p>リモコンの「DVR IR」ボタンを押しながら、リモコンIDの通り数字ボタンを押す。 例)リモコンIDを「05」に設定した場合 「DVR IR」ボタンを押しながら、「0/10」と「5」を押す。</p> <p>※リモコンIDを「00」に設定した場合、全てのリモコンで機器をコントロールできます。</p>
自動キーロック	<p>ON、OFFを選択します。 ONの場合、操作終了から3分後に、自動的にキーロックされ、全てのキー入力を無効にします。 キーロックの解除にはユーザーパスワードを使用します。</p>
録画サイズ	<p>録画解像度の設定を行います。 数値が大きいほど綺麗ですが、録画時間は短くなります。</p> <p>CIF, 4/8/16CH : 解像度360×240 Field, 4/8/16CH : 解像度720×240 Frame, 4/8/16CH : 解像度720×480 Frame + CIF (初期設定) : チャンネル1 720×480 その他チャンネル 360×240</p>

システム設定 設定

項目	調整
再生時映像補正	映像のちらつきを軽減します。
起動時録画設定	起動時に自動的に録画動作を行わせる場合に設定します。 ノーマル録画、予約録画のいずれかを選択します。 ※どちらにもチェックが入っていない場合は、起動時に録画動作を行いません。また、どちらにもチェックが入っている場合、ノーマル録画が開始します。
パスワード	OFFに設定すると、「電源OFF」「録画停止」「予約録画停止」以外の操作にパスワード認証が不要になります。 (初期値: OFF)
工場出荷時設定	各種設定を初期化します。 ※実行前に録画を停止してください。

システム設定 日時設定

日時と自動更新方法についての設定を行います。

システム設定メニュー内で右カーソルボタンを1度押すと、日時設定メニューが表示されます。



項目	調整
日付	[−][+]で数字を変更し、現在の日付を設定します。
時刻	[−][+]で数字を変更し、現在の時刻を設定します。
時刻同期	ONに設定すると、ネットワーク上にあるパソコンと時刻を同期します。 この機能を利用するためには、同期するパソコンに以下のソフトウェア（付属CD参照）をインストールしてください。 DvrTimeSyncInstaller.exe ※プログラムが実行されると、 UDP4014 Port を使って通信を開始します。
時刻サーバー	ネットワーク上にある、時刻を同期するパソコンのローカルIPアドレスを入力します。※時刻同期利用時のみ

※時刻設定は、録画を停止してから行ってください。

システム設定 ユーザー

ユーザーと権限についての設定を行います。

システム設定メニュー内で右カーソルボタンを2度押すと、ユーザー設定メニューが表示されます。

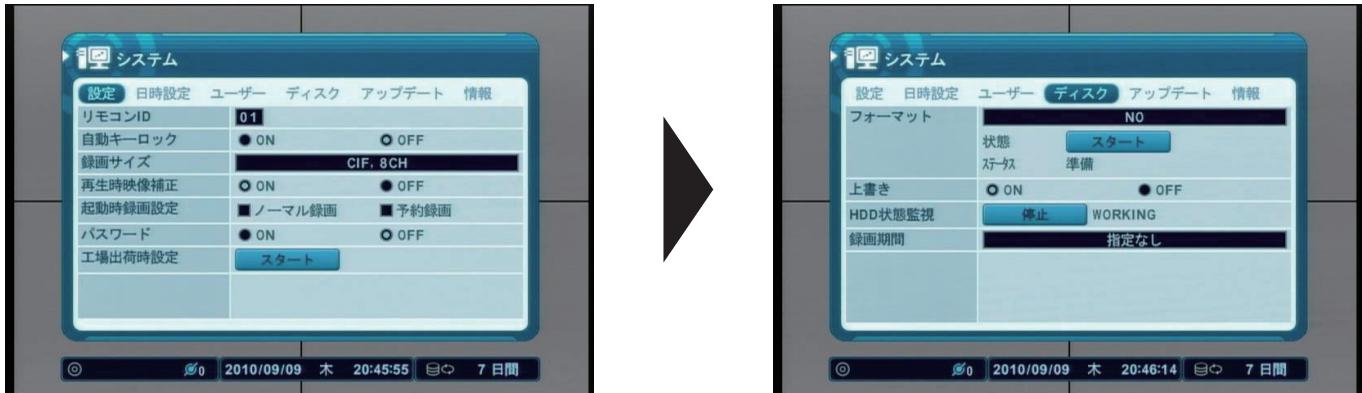


項目	調整
ユーザー	[−][+]で設定するユーザー名を選択します。 ユーザー名はUSER1～USER5、管理者の6種類です。
使用	ユーザーの項目で選択したユーザー名のON/OFFを設定します。
ユーザー権限	ユーザーの項目で選択したユーザー名の持つ権限を設定します。 許可する操作にチェックを入れてください。 モニタリング : カメラ映像の表示 再生 : 録画記録の再生 バックアップ : バックアップ機能 設定 : 各種項目の設定 ネットワーク : ネットワーク監視 シャットダウン : 本機の電源OFF 録画停止 : 録画停止
パスワード	ユーザー項目で選択したユーザー名のパスワードを設定します。 パスワード : 今までのパスワードを入力 新しいパスワード : 新しいパスワードを入力 再入力 : 新しいパスワードの再入力（確認用）

システム設定 ディスク

ハードディスクについての設定を行います。

システム設定メニュー内で右カーソルボタンを3度押すと、ディスク設定メニューが表示されます。



項目	調整
フォーマット	<ol style="list-style-type: none">フォーマットの前に録画や再生を完全に止めます。[−][+]ボタンを使ってフォーマットする機器を選びます。<ul style="list-style-type: none">内蔵HDD内蔵ドライブ CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWUSB(前面)USB(背面)※USB-HDDをフォーマットすると、FAT32になります。方向キーで[スタート]に移動し[+]または[−]ボタンを押します。フォーマットが始まると進行状況はウィンドウ下部に表示されます。フォーマットには10~30秒かかります。終了すると、[完了]と表示され、ウィンドウ下部には[成功]と表示されます。
上書き	HDDの録画方法を選択します。 ON…HDD容量がいっぱいになったとき、古いファイルから順にデータを上書きして録画を継続します。 OFF…HDD容量がいっぱいになった後は録画を停止します。
HDD状態監視	HDDに異常が起きた際に自動でモニタリングを中止します。 DVR再起動後はモニタリングを開始します。 ※開始と停止には[−][+]ボタンを使用します。
録画期間	データを残しておく期間を設定します。指定した期間を過ぎた古いデータは自動的に削除されます。

システム設定 アップデート

ハードウェア、システムソフトウェアのバージョン確認、及びシステムソフトウェアのアップデートを行います。

システム設定メニュー内で右カーソルボタンを4度押すと、アップデートメニューが表示されます。

※システムソフトウェアのアップデートを行う前に、データをUSBメモリーにコピーして下さい。

(USBメモリーを開き、そこへアップデート用ファイルをコピーします。その際、フォルダなど作成せず、アップデート用ファイルのみコピーして下さい。)

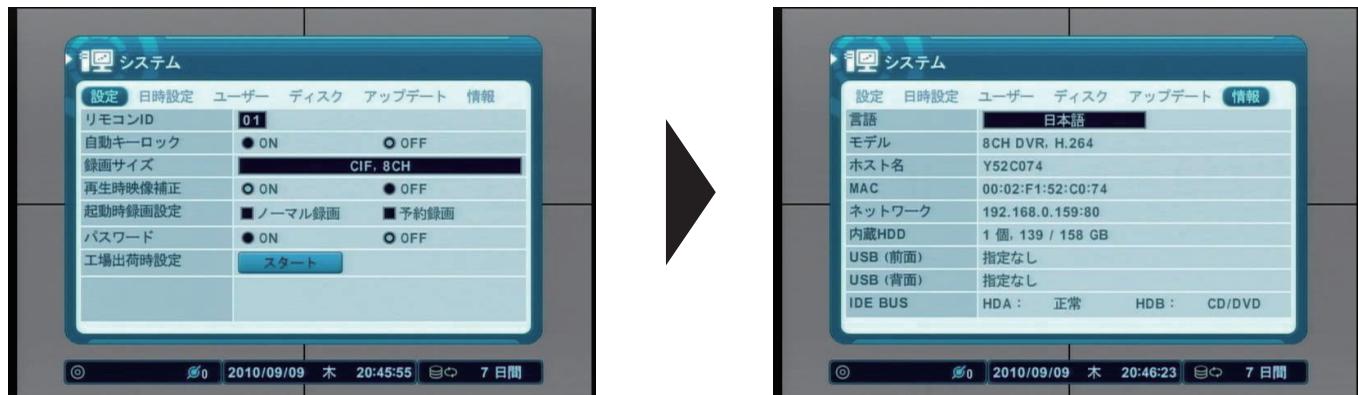


項目	調整
アップデート	<p>以下の手順でアップデートを行います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 録画、再生を停止します。2. アップデート用ファイルをコピーしたUSBメモリーを、背面パネルに差し込み、ステータスバーにアイコンが表示されるのを確認します。 ↓ 3. 「アップデート」を選択し、Enterを押します。4. アップデートが開始されます。5. アップデートが完了すると、本機は自動で再起動します。6. 起動後、ソフトウェアバージョンを確認し、アップデートが成功していることを確認して下さい。 <p>※アップデート中に電源を落とさないで下さい。 録画中にはアップデートできません。</p>
ボードバージョン	録画機に内蔵されたメインボードのバージョンを表示します。
S/W VERSION	ソフトウェアのバージョンを表示します。

システム設定 情報

言語設定、システム情報を表示します。

システム設定メニュー内で右カーソルボタンを5度押すと、各種情報が表示されます。



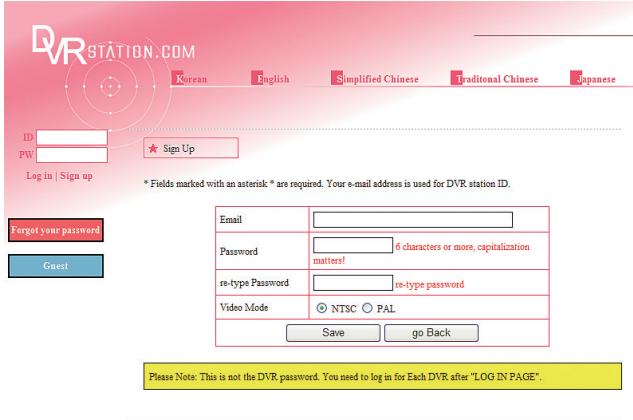
項目	調整
言語	[－][+]を使い、本機で使用する言語を選択します。
モデル	本機のモデル名を表示します。
ホスト名	ネットワーク設定で使用する、本機のホスト名を表示します。
MAC	本機のMACアドレスを表示します。
ネットワーク	現在のIPアドレスとポート番号を表示します。
内蔵HDD	ハードディスクの数量と、合計容量を表示します。
USB（前面）	前面のUSBコネクターに接続されている機器を表示します。
USB（背面）	背面のUSBコネクターに接続されている機器を表示します。
IDE BUS	IDE BUSに接続された機器の情報を表示します。 HDA : BUS Aに接続されている機器の情報を表示します。 HDB : BUS Bに接続されている機器の情報を表示します。 HDDがS.M.A.R.T機能をサポートする場合、以下の情報が表示されます。 警告 : 問題が確認されています。 エラー : 重度の問題（HDD損傷など）が確認されています。 どちらの場合も、お早めのハードディスク交換を行って下さい。

スマートフォンでの監視方法

【iPhone】【Xperia】などの3G規格のスマートフォンから監視することが可能です。

初期設定

- 1 PCから、IEで【<http://dvrstation.com/eng/>】にアクセスします。
※英語表記のサイトです。



- 2 左側 Sing up をクリックします。
- 3 各項目を入力します。
E-mail : メールアドレスを入力します。
※20文字までの文字数制限があります。
Password : パスワード（任意の文字列）を入力します。
re-type Password : 上で入力したパスワードを再入力します。
Video Mode : NTSCにチェックをいれます。
- 4 Save をクリックします。

- 5 携帯電話から専用アドレス【<http://wap.dvrstation.com/>】にアクセスします。



- 6 LOGINを選択します。
- 7 IDに3で登録したメールアドレス、PASSWORDに3で登録したPasswordを入力します。
- 8 ENTERを選択します。

- 9 録画機情報を入力します。

- 10 録画機情報を入力します。

NAME : 設定名(Officeなど)を入力します。
HOST NAME : 録画機のホスト名を入力します。
(取得したIPアドレス)
PORT : 使用するポート番号を入力します。
(通常は変更不要)
USER NAME : 録画機に設定しているユーザー名を入力します。
PASSWORD : 録画機に設定しているパスワードを入力します。

- 11 APPLYボタンを選択します。

- 12 10で設定した設定名が表示されるので、選択します。

- 13 カメラ番号が表示されるので、任意の番号を選択します。

- 14 選択したカメラの映像が表示されます

2回目以降のログイン設定

- 1 携帯電話から専用アドレス【<http://wap.dvrstation.com/>】にアクセスします。
- 2 LOGINを選択します。
- 3 ID(登録したメールアドレス)とPasswordを入力します。
- 4 アクセスしたい録画機の設定名を選択します。
- 5 カメラ番号が表示されるので、任意の番号を選択します。
- 6 選択したカメラの映像が表示されます

録画時間目安表(4CH)

■録画解像度:360×240 ハードディスク容量:500GB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		30枚	15枚	7枚	3枚
録 画 画 質	Best	121 (5日)	241 (10日)	517 (21.5日)	1206 (50.2日)
	Super	193 (8日)	386 (16.1日)	827 (34.4日)	1929 (80.4日)
	Higt	289 (12.1日)	579 (24.1日)	1240 (51.7日)	2894 (120.6日)
	Middle	413 (17.2日)	827 (34.4日)	1772 (73.8日)	4134 (172.2日)
	Low	579 (24.1日)	1157 (48.2日)	2480 (103.3日)	5787 (241.1日)

■録画解像度:360×240 ハードディスク容量:1TB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		30枚	15枚	7枚	3枚
録 画 画 質	Best	242 (10日)	482 (20日)	1034 (43日)	2412 (100.4日)
	Super	386 (16日)	772 (32.2日)	1654 (68.8日)	3858 (160.8日)
	Higt	578 (24.2日)	1158 (48.2日)	2480 (103.4日)	5788 (241.2日)
	Middle	826 (34.4日)	1654 (68.8日)	3544 (147.6日)	8268 (344.4日)
	Low	1158 (48.2日)	2314 (96.4日)	4960 (206.6日)	11574 (482.2日)

※録画時間は、スケジュール録画・モーション録画などの録画設定及び、その他環境によって増減する場合があります。また、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。

録画時間目安表(8CH)

■録画解像度:360×240 ハードディスク容量:500GB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		15枚	10枚	5枚	3枚
録 画 画 質	Best	120.5 (5日)	181 (7.5)	361.5 (15日)	603 (25.1日)
	Super	193 (8日)	289.5 (12日)	578.5 (24.1日)	964.5 (40.2日)
	Higt	289.5 (12日)	434 (18.1日)	868 (36.1日)	1447 (60.3日)
	Middle	413.5 (17.2日)	620 (25.8日)	1240 (51.6日)	2067 (86.1日)
	Low	578.5 (24.1日)	868 (36.1日)	1736 (72.3日)	2893.5 (120.5日)

■録画解像度:360×240 ハードディスク容量:1TB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		15枚	10枚	5枚	3枚
録 画 画 質	Best	241 (10日)	362 (15.1日)	723 (30.1日)	1206 (50.2日)
	Super	386 (16.1日)	579 (24.1日)	1157 (48.2日)	1929 (80.4日)
	Higt	579 (24.1日)	868 (36.2日)	1736 (72.3日)	2894 (120.6日)
	Middle	827 (34.4日)	1240 (51.7日)	2480 (103.3日)	4134 (172.2日)
	Low	1157 (48.2日)	1736 (72.3日)	3472 (144.7日)	5787 (241.1日)

※録画時間は、スケジュール録画・モーション録画などの録画設定及び、その他環境によって増減する場合があります。また、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。

録画時間目安表(16CH)

■録画解像度:360×240 ハードディスク容量:500GB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		7枚	5枚	3枚	1枚
録 画 画 質	Best	129 (5.4日)	181 (7.5日)	301.5 (12.5日)	904 (37.7日)
	Super	206.5 (8.6日)	289.5 (12日)	482.5 (20.1日)	1447 (60.3日)
	Higt	310 (12.9日)	434 (18.1日)	723.5 (30.1日)	2170 (90.4日)
	Middle	443 (18.4日)	620 (25.8日)	1033 (43日)	3100 (129.2日)
	Low	620 (25.8日)	868 (36.1日)	1447 (60.3日)	4340.5 (180.8日)

■録画解像度:360×240 ハードディスク容量:1TB

(時間)

1秒間あたりのトータルコマ数		7枚	5枚	3枚	1枚
録 画 画 質	Best	258 (10.8日)	362 (15.1日)	603 (25.1日)	1808 (75.4日)
	Super	413 (17.2日)	579 (24.1日)	965 (40.2日)	2894 (120.6日)
	Higt	620 (25.8日)	868 (36.2日)	1447 (60.3日)	4340 (180.8日)
	Middle	886 (36.9日)	1240 (51.7日)	2067 (86.1日)	6200 (258.4日)
	Low	1240 (51.7日)	1736 (72.3日)	2894 (120.6日)	8681 (361.7日)

※録画時間は、スケジュール録画・モーション録画などの録画設定及び、その他環境によって増減する場合があります。また、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。

仕様 RD-3904 / RD-3905

型番	RD-3904	RD-3905
録画解像度	720×480 / 720×240 / 360×240	
録画記録方式	H.264 デジタル圧縮方式	
映像入力	4CH(BNC)	
映像出力	メインモニター ×3(BNC/VGA/HDMI)、スポットモニター ×1(BNC)	
最大コマ数	120コマ	
分割表示	全画面、4分割	
音声入力	1ライン入力(RCA)	
音声出力	1ライン出力(RCA)	
録画画質	BEST、SUPER、HIGH、MIDDLE、LOW	
内蔵HDD容量	500GB	1000GB
録画モード	通常録画、予約録画、アラーム録画、モーション録画	
バックアップメディア	USBフラッシュメモリ、CD-R、DVD-R、DVD-RW、外付けHDD(USB)	
アラーム入力	4入力(D-sub)	
アラーム出力	1出力(D-sub)	
動き検知	28 × 24グリッド、感度調整	
ビデオロス検知	あり	
上書き機能	あり	
ネットワーク	RJ45、イーサネット	
リモートソフトウェア	あり	
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定	
PTZカメラコントロール	上下、左右、ズームイン/アウト、プリセット登録/実行	
外形寸法	350(幅)×205(奥行)×80(高さ)mm	
重量	3.3kg	
動作環境温度	0度～40度	
動作環境湿度	10～90% 結露なきこと	
電源	DC12V/50W	
付属品	取扱説明書、リモコン、USBマウス、遠隔監視ソフトインストール用CD、DC12Vアダプタ 電源ケーブル、AVケーブル、BNC変換コネクタ×5	

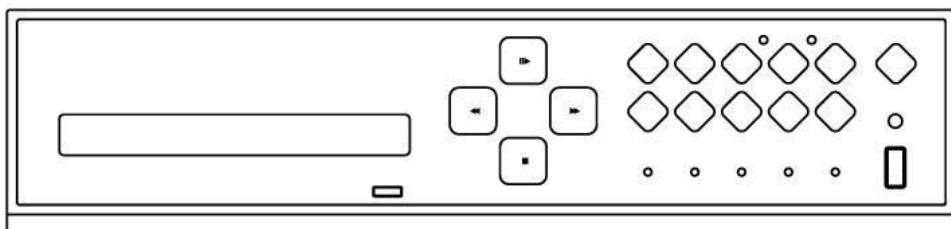
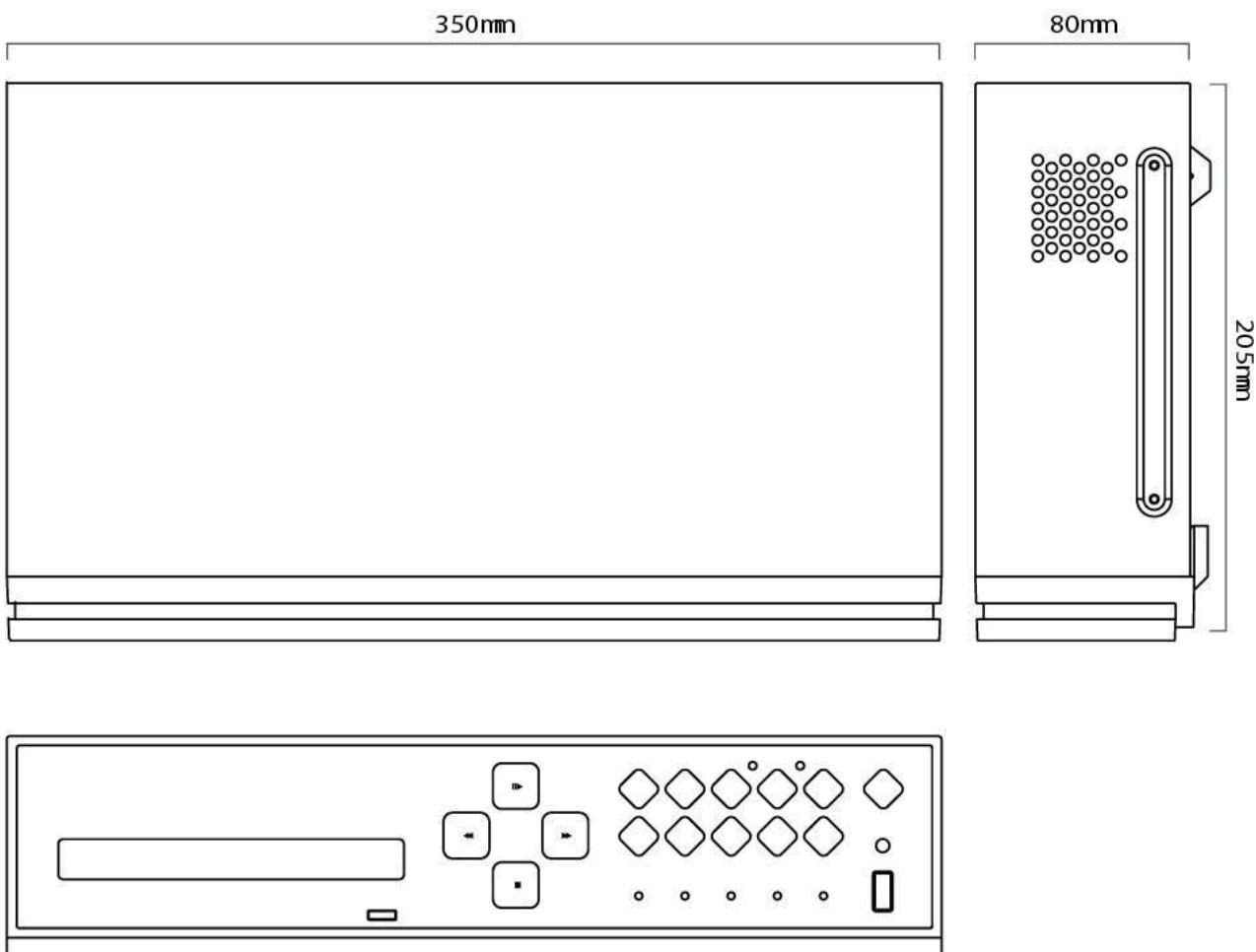
仕様 RD-3908 / RD-3909

型番	RD-3908	RD-3909
録画解像度	720×480 / 720×240 / 360×240	
録画記録方式	H.264 デジタル圧縮方式	
映像入力	8CH(BNC)	
映像出力	メインモニター ×3(BNC/VGA/HDMI)、スポットモニター ×1(BNC)	
最大コマ数	240コマ	
分割表示	全画面、4分割、9分割	
音声入力	4ライン入力(RCA)	
音声出力	1ライン出力(RCA)	
録画画質	BEST、SUPER、HIGH、MIDDLE、LOW	
内蔵HDD容量	500GB	1000GB
録画モード	通常録画、予約録画、アラーム録画、モーション録画	
バックアップメディア	USBフラッシュメモリ、CD-R、DVD-R、DVD-RW、外付けHDD(USB)	
アラーム入力	8入力(D-sub)	
アラーム出力	2出力(D-sub)	
動き検知	28 × 24グリッド、感度調整	
ビデオロス検知	あり	
上書き機能	あり	
ネットワーク	RJ45、イーサネット	
リモートソフトウェア	あり	
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定	
PTZカメラコントロール	上下、左右、ズームイン/アウト、プリセット登録/実行	
外形寸法	350(幅)×205(奥行)×80(高さ)mm	
重量	3.3kg	
動作環境温度	0度～40度	
動作環境湿度	10～90% 結露なきこと	
電源	DC12V/50W	
付属品	取扱説明書、リモコン、USBマウス、遠隔監視ソフトインストール用CD、DC12Vアダプタ 電源ケーブル、AVケーブル、BNC変換コネクタ×9	

仕様 RD-3916 / RD-3917

型番	RD-3916	RD-3917
録画解像度	720×480 / 720×240 / 360×240	
録画記録方式	H.264 デジタル圧縮方式	
映像入力	16CH(BNC)	
映像出力	メインモニター ×3(BNC/VGA/HDMI)、スポットモニター ×1(BNC)	
最大コマ数	480コマ	
分割表示	全画面、4分割、9分割、16分割	
音声入力	8ライン入力(RCA)	
音声出力	2ライン出力(RCA)	
録画画質	BEST、SUPER、HIGH、MIDDLE、LOW	
内蔵HDD容量	500GB	1000GB
録画モード	通常録画、予約録画、アラーム録画、モーション録画	
バックアップメディア	USBフラッシュメモリ、CD-R、DVD-R、DVD-RW、外付けHDD(USB)	
アラーム入力	16入力(D-sub)	
アラーム出力	2出力(D-sub)	
動き検知	28 × 24グリッド、感度調整	
ビデオロス検知	あり	
上書き機能	あり	
ネットワーク	RJ45、イーサネット	
リモートソフトウェア	あり	
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定	
PTZカメラコントロール	上下、左右、ズームイン/アウト、プリセット登録/実行	
外形寸法	350(幅)×205(奥行)×80(高さ)mm	
重量	3.3kg	
動作環境温度	0度～40度	
動作環境湿度	10～90% 結露なきこと	
電源	DC12V/50W	
付属品	取扱説明書、リモコン、USBマウス、遠隔監視ソフトインストール用CD、DC12Vアダプタ 電源ケーブル、AVケーブル、BNC変換コネクタ×17	

製品図



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
リモコンを押しても動作しない	電池がなくなっている	電池を新しいものに変える
記録できない	記録領域が一杯になっている	データを削除する
	上書き設定を「しない」に設定している	録画設定内上書きを[する]に
タイマー記録ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー記録設定が正しくない	タイマー記録の設定を正しくやり直す
モーション録画ができない	モーション設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す
日付と時刻が表示しない	操作表示部の表示を消している	システム設定内のディスプレイ設定を正しくやり直す

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますか、これ

は異常ではありません。

また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。

① 電源を入切する。

② ①を繰り返しあなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番
(4chDVR RD-3904など)
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

